

第2期かほく市創生総合戦略推進計画 事業個票

【令和2年度決算】

第2期かほく市創生総合戦略推進計画 一覧

事業番号	事業名	担当課
1	1-①-1 戦略的な企業誘致の推進	産業振興課(企画情報課)
2	1-①-2 かほくで創業するとこんなにいいことがありますよ	産業振興課
3	1-①-3 空き家空き店舗の活用による賑わいの創出	企画情報課
4	1-②-1 がんばる中小企業に対する支援事業	産業振興課
5	1-②-2 地域農産物ブランド化事業	産業振興課
6	1-②-3 担い手育成に関する事業(仮)	産業振興課
7	1-②-4 6次産業化ネットワーク活動事業	産業振興課
8	2-①-1 観光振興による新しい人の流れの創出	産業振興課
9	2-①-2 ふるさと回帰による関係人口の創出	企画情報課
10	2-①-3 ふるさと納税寄附金制度の推進	総務課秘書室
11	2-①-4 企業版ふるさと納税の活用促進	企画情報課
12	2-②-1 移住定住及び定着に向けた経済的な支援	企画情報課
13	2-②-2 シティプロモーションによるPR活動の推進	企画情報課
14	2-②-3 普通財産の分譲化	総務課管財室
15	3-①-1 妊娠から出産・子育てまで切れ目のない経済的な支援	健康福祉課 (子育て支援課、保険医療課)
16	3-①-2 親と子がともに健やかに成長できる環境づくり	子育て支援課(都市建設課)
17	3-①-3 幼児教育の環境整備	子育て支援課
18	3-①-4 男女共同参画による調和のとれた子育てと就業環境の整備	生涯学習課(子育て支援課)
19	3-②-1 学力調査の実施と小学校全学年での35人以下学級編制の充実	学校教育課
20	3-②-2 多様なニーズに対応した教育機会の提供・支援事業	学校教育課
21	3-②-3 学校を核とした地域活力(地域教育力)向上事業	生涯学習課
22	4-①-1 国土強靱化地域計画の着実な遂行	企画情報課(都市建設課)
23	4-①-2 新技術を活用したまちづくりの推進	企画情報課(長寿介護課)
24	4-①-3 新技術を活用した行政機能の効率化	企画情報課
25	4-①-4 地域公共交通ネットワーク構築事業	企画情報課
26	4-①-5 石川中央都市圏連携事業の推進	企画情報課
27	4-②-1 市民の健康づくりと「健康なまち」づくり基盤の整備	健康福祉課
28	4-②-2 高齢者の生きがいづくり環境の整備	長寿介護課
29	4-②-3 障害者の暮らしの安全と生きがいづくり	健康福祉課(産業振興課)
30	4-③-1 かほく市総合体育館の整備を核としたスポーツ環境づくり	スポーツ文化課
31	4-③-2 する・みる・支えるを通じた「スポーツ関係人口」の創出	スポーツ文化課
32	5-①-1 北部交流ゾーンの賑わい創出	産業振興課
33	5-①-2 南部交流ゾーンの広域商業機能や交流機能の集積・強化	企画情報課
34	5-①-3 西田幾多郎記念哲学館の充実による西田哲学の普及・啓発	生涯学習課(哲学館)
35	5-①-4 石川県立看護大学及び県内大学による地方創生推進事業	企画情報課

担当課

産業振興課（企画情報課）

◇かほく市創生総合戦略推進計画（総合戦略）の体系

① 基本目標

1. かほく市に安定した雇用を創出し、安心して働けるようにする

② 基本方針

1. 企業誘致による成長の持続

◇事業内容(PCDAサイクル)

③ 事業番号・名

1-①-1 戦略的な企業誘致の推進

④ 予算事業名 (PLAN)

商工業振興対策事業
7-1-2 (1-1)

⑤ 事業概要 (PLAN)

かほく市内において、工場・事業所を新増設した企業や、本社機能を移転する企業に対しての助成を行う。また、かほく市への企業進出ニーズに応えるための事業所用地確保や産業立地に向けた施策を積極的に展開するとともに、サテライトオフィスやテレワークなどの新しい働き方への対応を進め、市内における安定した雇用の場の創出を図る。

⑥ 令和2年度取組内容 (PLAN・DO)

【具体的な取り組み内容】

・かほく市内において、工場・事業所を新設又は増設した企業に対する助成を行った。
 【交付決定】工場等立地助成金：新設0件、増設3件（交付額：112,950千円）
 本社機能移転助成金：新増設ともに0件
 【助成認定】工場等立地助成金：新設0件、増設2件
 本社機能移転助成金：新設1件（工場併設型）
 ・市南部地区への商業・観光産業等の立地誘導を図ることを目的にかほく市南部交流ゾーン商圏基礎調査を実施し、人口、交通、競合業種の分析による業種ごとの進出可能性及び誘致の方向性の検証を行った。

⑦ 基本目標のKPI (PLAN)

・企業誘致件数 3件（累計）
 ・企業の製造品出荷額を1,320億円とする

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
企業誘致件数	目標	—	—	—	—	—	—	3
	実績	—	0					
助成制度活用件数	目標	—	2	2	2	2	2	10
	実績	—	3					

⑧ 当該事業目標KPI及び実績 (PLAN・DO・CHECK)

年度・単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	0	0				0
	うち一財	0	0				0
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,964	1,978				3,942
	うち一財	1,860	1,831				3,691
	総事業費(A+B)	1,964	1,978	0	0	0	3,942
	うち一財	1,860	1,831	0	0	0	3,691
一般財源割合(%)		94.7	92.6	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	93.6
決算	A. 事業費	112,950					112,950
	うち一財	112,950					112,950
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,948					1,948
	うち一財	1,845					1,845
	総事業費(A+B)	114,898	0	0	0	0	114,898
	うち一財	114,795	0	0	0	0	114,795
一般財源割合(%)		99.9	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	99.9

⑨ 令和3年度以降の方針 (CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	製造業を中心に、マスクなどの急激な需要増に対応するための事業拡張や、コロナ禍で抑えられていた設備投資を再開する動きが見られる。市内における安定した雇用の場創出のため、企業の投資を引き続き支援していく必要がある。
対応方針	引き続き情報提供に努め、市内外の企業へ制度を周知し、事業の拡張及び企業誘致を促進する。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	市の提案のとおり進めること。

担当課

産業振興課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標

1. かほく市に安定した雇用を創出し、安心して働けるようにする

② 基本方針

1. 企業誘致による成長の持続

◇事業内容(PCDAサイクル)

③ 事業番号・名

1-①-2 かほくで創業するとこんなによいことがありますよ

④ 予算事業名
(PLAN)

商工業振興対策事業
7-1-2 (1-1)

⑤ 事業概要
(PLAN)

創業者が事業に順調に滑り出すことができるように、金融機関とも連携を図りながら、利子補給補助や創業準備費補助等の支援を行う。特に若者や女性の起業に対しては、さらなる上乗せ補助を行い、市内の起業者のチャレンジ意欲の向上を図る。

【具体的な取り組み内容】

○かほく市創業者支援事業補助金
 ・指定融資制度の借入利子1%分を2年間助成する。(借入限度額1千万円)
 ⇒R2年度実績 …16件 468,520円(※R2申請件数:9件、241,404円)
 ・初期投資額の20%を助成する。(限度額500千円)
 ⇒R2年度実績 …8件 4,000,000円(※1件初期投資助成利用せず。)
 ・若者等チャレンジ支援助成を行う。(限度額300千円)
 ⇒R2年度実績 …9件 2,700,000円

⑦ 基本目標のKPI
(PLAN)

・企業誘致件数 3件(累計)
 ・企業の製造品出荷額を1,320億円とする

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
補助金利用 件数	目標		6	6	6	6	6	30
	実績	28	9					
	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績
(PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	5,396	5,042				10,438
	うち一財	5,396	5,042				10,438
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,571	1,582				3,153
	うち一財	1,489	1,466				2,955
	総事業費(A+B)	6,967	6,624	0	0	0	13,591
	うち一財	6,885	6,508	0	0	0	13,393
一般財源割合(%)		98.8	98.2	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	98.5
決算	A. 事業費	7,168					7,168
	うち一財	7,168					7,168
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,558					1,558
	うち一財	1,475					1,475
	総事業費(A+B)	8,726	0	0	0	0	8,726
	うち一財	8,643	0	0	0	0	8,643
一般財源割合(%)		99.0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	99

方針 2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

⑨ 令和3年度以降
の方針
(CHECK・ACT)

理由 市内での創業者数の増加は、新たな賑わいの創出や将来的な新たな雇用の創出など波及効果が大きいことから、引き続き支援が必要である。

対応方針 補助制度を継続し、創業者が事業を順調にスタートできるよう支援を行う。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見
(CHECK・ACT)

方針 2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

意見 金融機関との情報共有・連携を進めること。

担当課

企画情報課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標

1. かほく市に安定した雇用を創出し、安心して働けるようにする

② 基本方針

1. 企業誘致による成長の持続

◇事業内容(PCDAサイクル)

③ 事業番号・名

1-①-3 空き家空き店舗の活用による賑わいの創出

④ 予算事業名
(PLAN)

企画調整事業
2-1-7 (1-1)

⑤ 事業概要
(PLAN)

空き家・空き店舗の活用を促進し、地域の活性化や賑わいの創出を図るため、空き家等に出店する個人や法人に対し物件購入費、設備導入費、物件改装工事費等に要した経費の一部を補助金として交付するとともに、県外の法人等が市内の空き家等を活用し、サテライトオフィスを開設する際の支援も検討する。また、市内の賑わい創出に資する情報収集や情報発信について、金融機関をはじめとした民間企業との連携を図るとともに、本補助事業を活用した方のネットワーク構築についても検討する。

【具体的な取り組み内容】

○空き家空き店舗活用補助金を交付（1件あたり最大3,600千円、補助率2分の1）
【新規開業分】2件（6,913,000円）
【家賃補助分】2件（554,000円）
○R2.10より更なる賑わいの創出や新型コロナウイルス感染症への対応として対象業種を拡充した。
※飲食料品小売業、持ち帰り・配達飲食サービス業、理容業、美容業、エステティック業、リラクゼーション業、ネイルサービス業その他賑わいの創出に資するものとして市長が認めるもの

⑥ 令和2年度
取組内容
(PLAN・DO)

⑦ 基本目標のKPI
(PLAN)

・企業誘致件数 3件（累計）
・企業の製造品出荷額を1,320億円とする

現況値 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 累計値

新規創業者数	目標		2	2	2	2	2	10
	実績	—	2					

	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績
(PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	3,600	7,200				10,800
	うち一財	0	200				200
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,284	1,412				2,696
	うち一財	1,239	1,356				2,595
	総事業費(A+B)	4,884	8,612	0	0	0	13,496
	うち一財	1,239	1,556	0	0	0	2,795
一般財源割合(%)		25.4	18.1	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	20.7
決算	A. 事業費	7,467					7,467
	うち一財	3,867					3,867
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,439					1,439
	うち一財	1,389					1,389
	総事業費(A+B)	8,906	0	0	0	0	8,906
	うち一財	5,256	0	0	0	0	5,256
一般財源割合(%)		59.0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	59

方針 2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

⑨ 令和3年度以降
の方針
(CHECK・ACT)

理由 市内の空き家空き店舗の解消と新規創業の促進による賑わいの創出のため、引き続き取り組みが必要である。

対応方針 事業者へのヒアリングや統計データを基にニーズを調査し、対象業種についての見直し等について検討する。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見
(CHECK・ACT)

方針 2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

意見 市の提案のとおり進めること。

担当課 産業振興課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

- ① 基本目標 1. かほく市に安定した雇用を創出し、安心して働けるようにする
- ② 基本方針 2. 地場産業の成長の戦略化

◇事業内容(PCDAサイクル)

③ 事業番号・名 1-②-1 がんばる中小企業に対する支援事業

④ 予算事業名 (PLAN) 商工業振興対策事業 7-1-2 (1-1) 商工費貸付金・利子補給事業 7-1-2 (2-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 商工業の振興のため、市内の中小企業者へ助成制度を提供する。従来の新製品開発事業や特許権取得・設備投資促進事業への助成に加え、ローカル5G整備などの先進技術導入及びキャッシュレス決済、テレワーク環境の導入といった新しい生活様式への対応や両立に向けた投資についても助成対象とするなど、新たな取り組みを創出する。

【具体的な取り組み内容】

市内中小企業の安定操業、事業拡大の支援のため、各種助成制度を実施した。

◆R2取組実績

【中小企業設備投資促進助成】	…4件	199,800円
【中小企業特許権取得促進助成】	…1件	25,000円
【見本市等出展事業補助】	…1件	300,000円
【特産品等開発支援事業補助】	…0件	0円
【企業PR活動支援補助】	…0件	0円

⑥ 令和2年度取組内容 (PLAN・DO)

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・企業誘致件数 3件(累計)
・企業の製造品出荷額を1,320億円とする

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
特産品補助活用件数	目標	1	1	1	1	1	5	
	実績	4	0					
	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI及び実績 (PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	1,616	2,879				4,495
	うち一財	1,616	2,879				4,495
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,834	1,846				3,680
	うち一財	1,736	1,710				3,446
	総事業費(A+B)	3,450	4,725	0	0	0	8,175
	うち一財	3,352	4,589	0	0	0	7,941
一般財源割合(%)		97.2	97.1	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97.1
決算	A. 事業費	524					524
	うち一財	524					524
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,816					1,816
	うち一財	1,722					1,722
	総事業費(A+B)	2,340	0	0	0	0	2,340
	うち一財	2,246	0	0	0	0	2,246
一般財源割合(%)		96.0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	96

方針 2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

⑨ 令和3年度以降の方針 (CHECK・ACT)

理由	市内中小企業の安定操業、事業拡大の支援のため各種補助制度の継続が必要である。
対応方針	現行の補助制度の継続に加え、アフターコロナや、次世代通信の活用を見据えた事業を展開する企業を支援するための補助制度の新設についても検討を進める。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

方針 2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

意見 市の提案のとおり進めること。

担当課

産業振興課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標

1. かほく市に安定した雇用を創出し、安心して働けるようにする

② 基本方針

2. 地場産業の成長の戦略化

◇事業内容(PCDAサイクル)

③ 事業番号・名

1-②-2 地域農産物ブランド化事業

④ 予算事業名
(PLAN)

地域農産物ブランド化推進事業
6-1-3 (15-1)

⑤ 事業概要
(PLAN)

激化する農産物の産地間競争に対応していくために、地域農産物ブランド化事業や、新たな販売・販路の拡大に意欲的に取り組む事業実施者に対して支援を行う。
さらに、大都市圏におけるニーズ動向をリアルタイムで反映していけるよう、都市部にいながらリモート等でブランド力向上に参画できる仕組みづくりや、ブランド力を活かしたイベント開催、全国各地のイベントへの参加など、各ブランド品目のPRや観光客の誘客策についても積極的に支援する。

【具体的な取り組み内容】

かほく市主要農産物6品目(ぶどう・紋平柿・長いも・さつまいも(かほっくり)・すいか・大根)のブランド化を進めるため、各生産組合による生産技術向上や販売促進への取り組みに対して補助を行った。
また、付加価値の向上のため、地域団体商標取得や規格外品を有効に利用するため加工品の開発など、新たな販売の拡大に取り組んだ。
・各品目の初出荷・初競りの取材広報等
・補助金(栽培試験、講習会開催、市場視察、販売用梱包資材デザイン等)を交付(5団体・2,500千円)

⑥ 令和2年度
取組内容
(PLAN・DO)

⑦ 基本目標のKPI
(PLAN)

・企業誘致件数 3件(累計)
・企業の製造品出荷額を1,320億円とする

現況値 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 累計値

加工品取組 み団体数	目標		4	4	4	4	4	—
	実績	3	3					

	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績
(PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	2,500	7,500				10,000
	うち一財	2,500	7,500				10,000
	B. 管理費(人件費・事務費)	4,059	4,088				8,147
	うち一財	3,844	3,785				7,629
	総事業費(A+B)	6,559	11,588	0	0	0	18,147
	うち一財	6,344	11,285	0	0	0	17,629
一般財源割合(%)		96.7	97.4	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97.1
決算	A. 事業費	2,500					2,500
	うち一財	2,500					2,500
	B. 管理費(人件費・事務費)	3,506					3,506
	うち一財	3,320					3,320
	総事業費(A+B)	6,006	0	0	0	0	6,006
	うち一財	5,820	0	0	0	0	5,820
一般財源割合(%)		96.9	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	96.9

方針 2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

⑨ 令和3年度以降
の方針
(CHECK・ACT)

理由 コロナ禍の影響により、イベントの開催・参加、観光客を対象としたPRなどが縮小・中止されたが、これまでのブランド化の取組の成果を風化させないよう継続して支援する必要があるため。

対応方針 コロナ禍における方策とコロナ終息後の新たな方策を検討・実施する。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見
(CHECK・ACT)

方針 2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

意見 市の提案のとおり進めること。

担当課

産業振興課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標

1. かほく市に安定した雇用を創出し、安心して働けるようにする

② 基本方針

2. 地場産業の成長の戦略化

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名

1-②-3 担い手育成に関する事業(仮)

④ 予算事業名
(PLAN)

園芸産地担い手確保事業
6-1-3(18-1)

⑤ 事業概要
(PLAN)

かほく市農産物ブランド6品目などの農産物の持続的な発展や、繊維業・鉄工業をはじめとする市の基幹産業の振興を目的に、生産性の向上や産地の継承を促すため、県等の関係機関と連携しながら担い手の確保から育成までの一貫した人材育成の取り組みを行う。

【具体的な取り組み内容】

⑥ 令和2年度
取組内容
(PLAN・DO)

- 園芸産地担い手確保事業
 - ・就農フェアへの参加による人材確保【コロナにより中止】
 - ・新規就農者等への農業技術取得支援補助、農業機械・施設の購入補助、土地・機械施設の賃料補助
〈機械・施設補助〉2件 1,899,000円
 - ・就農希望者の栽培技術取得を指導する農家への補助
〈研修受入〉1件 779,625円
 - ・就農を目的とした移住者への家賃補助【実績無し】

⑦ 基本目標のKPI
(PLAN)

- ・企業誘致件数 3件(累計)
- ・企業の製造品出荷額を1,320億円とする

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
支援対象者からの補助金申請件数	目標		5	5	7	7	7	36
	実績	4	3					

	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績
(PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	3,915	5,416				9,331
	うち一財	3,915	5,416				9,331
	B. 管理費(人件費・事務費)	4,713	4,748				9,461
	うち一財	4,465	4,396				8,861
	総事業費(A+B)	8,628	10,164	0	0	0	18,792
	うち一財	8,380	9,812	0	0	0	18,192
一般財源割合(%)		97.1	96.5	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	96.8
決算	A. 事業費	4,536					4,536
	うち一財	4,536					4,536
	B. 管理費(人件費・事務費)	2,856					2,856
	うち一財	2,704					2,704
	総事業費(A+B)	7,392	0	0	0	0	7,392
	うち一財	7,240	0	0	0	0	7,240
一般財源割合(%)		97.9	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97.9

方針	2.継続	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	新規就農の相談件数が一定数あることから、着実に希望者の就農に結び付けることができるよう、引き続き支援する必要がある。	
対応方針	県、INATO、JA石川かほく等と連携して、新規就農希望者に対する情報提供や各種支援を行う。	

⑨ 令和3年度以降
の方針
(CHECK・ACT)

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見
(CHECK・ACT)

方針	2.継続	← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	市の提案のとおり進めること。	

担当課

産業振興課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標

1. かほく市に安定した雇用を創出し、安心して働けるようにする

② 基本方針

2. 地場産業の成長の戦略化

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名

1-②-4 6次産業化ネットワーク活動事業

④ 予算事業名
(PLAN)

⑤ 事業概要
(PLAN)

多様な事業者等の連携の下で、消費者等のニーズに即した新たな商品の開発、販路の開拓などを行い、特産品などの地域資源の価値を向上させ、消費者等に提供していく6次産業化等を推進する。
また、5G等の情報通信技術やAI、IoT等の未来技術を活用した産業のスマート化などの取り組みを支援する。

【具体的な取り組み内容】

⑥ 令和2年度
取組内容
(PLAN・DO)

担い手支援による後継者育成とあわせ、産業のスマート化など農業の活性化を促し、6次産業化に取り組む農業者等を対象に支援を行えるよう、国県の補助制度などについて情報収集を行い、支援策を検討した。

⑦ 基本目標のKPI
(PLAN)

・企業誘致件数 3件(累計)
・企業の製造品出荷額を1,320億円とする

現況値 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 累計値

実施団体数	目標	0	1	1	1	1	1	1
	実績	0						

	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績
(PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	0	0				0
	うち一財	0	0				0
	B. 管理費(人件費・事務費)	0	0				0
	うち一財	0	0				0
	総事業費(A+B)	0	0	0	0	0	0
	うち一財	0	0	0	0	0	0
一般財源割合(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
決算	A. 事業費	0					0
	うち一財	0					0
	B. 管理費(人件費・事務費)	0					0
	うち一財	0					0
	総事業費(A+B)	0	0	0	0	0	0
	うち一財	0	0	0	0	0	0
一般財源割合(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

⑨ 令和3年度以降
の方針
(CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	一部の一次産品については、外注加工による高付加価値化が試みられており、生産者の手による商品化、販売を目指して、支援を継続する必要がある。
対応方針	県、JA石川かほくやINATOなどと連携しながら、先進事例などを検証の上、取組団体への支援を推進する。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見
(CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	市の提案のとおり進めること。

担当課

産業振興課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 2. かほく市に新しいひとの流れをつくる

② 基本方針 1. かほく市とのつながりを構築

◇事業内容(PCDAサイクル)

③ 事業番号・名 2-①-1 観光振興による新しい人の流れの創出

④ 予算事業名(PLAN) 観光振興対策事業 7-1-3 (1-1)

⑤ 事業概要(PLAN)

本市の地域交流拠点施設である「道の駅高松」を通して、かほく市の観光スポットや地元特産品(市特産ブランド認証品)の魅力を発信するとともに同施設内のイベント広場を活用し、かほく市の北の玄関口としてさらなる誘客を図る。また、ワーケーションを始めとした新しい旅行スタイルやデリバリーサービスなどのニーズを柔軟に取り入れ、石川県及び県観光連盟、河北郡市観光企画委員会や国内旅行会社と連携して、近隣市町を含めた広域的な旅行商品の企画開発を行うほか、道の駅高松においては、将来的に「地域商社」機能の担い手として、市内の特産品を使ったご当地限定のオリジナル商品の開発販売や販路開拓、地域資源を活かした新たなビジネス事業などの展開を図り、市全体への新しいひとの流れを創出する。

【具体的な取り組み内容】

⑥ 令和2年度取組内容(PLAN・DO)

- ・市観光物産協会による独自イベント開催や県内外イベントへの参加。→新型コロナウイルスにより中止。
- ・河北郡市観光企画委員会による共同広域観光プロモーションの実施。→新型コロナウイルスにより中止。
- ・KAHOKU MUSIC FES. 2020開催。→新型コロナウイルスにより中止。

⑦ 基本目標のKPI(PLAN)

- ・社会増減数(転入者数-転出者数)を+150人とする
- ・主なかほく市の観光施設の入込客数を700千人とする

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
市内観光入込客数	目標		640,000	655,000	670,000	685,000	700,000	3,350,000
	実績	635,624	429,500					
		目標						
		実績						

⑧ 当該事業目標KPI及び実績(PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	2,530	2,440				4,970
	うち一財	2,530	2,440				4,970
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,964	1,978				3,942
	うち一財	1,860	1,831				3,691
	総事業費(A+B)	4,494	4,418	0	0	0	8,912
	うち一財	4,390	4,271	0	0	0	8,661
一般財源割合(%)		97.7	96.7	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97.2
決算	A. 事業費	580					580
	うち一財	580					580
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,948					1,948
	うち一財	1,845					1,845
	総事業費(A+B)	2,528	0	0	0	0	2,528
	うち一財	2,425	0	0	0	0	2,425
一般財源割合(%)		95.9	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	95.9

⑨ 令和3年度以降の方針(CHECK・ACT)

方針	2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5.廃止
理由	コロナ禍の影響が落ち着いた後を見据え、イベント開催や魅力発信等により、誘客及び市内事業者を支援する。北部振興ビジョン実現化に向けたトライアル・検証は一部事業のみ実施しており、引き続き検証する必要がある。
対応方針	新型コロナウイルスの状況やワクチン接種状況を考慮しながら、これまでのイベントの再開や、コロナウイルス感染予防に配慮したイベント等の開催、市の魅力づくりにより、市への交流人口・関係人口の増加と市の魅力発信を目指す。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見(CHECK・ACT)

方針	2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5.廃止
意見	市の提案のとおり進めること。

担当課

企画情報課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 2. かほく市に新しいひとの流れをつくる

② 基本方針 1. かほく市とのつながりを構築

◇事業内容(PCDAサイクル)

③ 事業番号・名 2-①-2 ふるさと回帰による関係人口の創出

④ 予算事業名 (PLAN) 企画調整事業 2-1-7 (1-1)

⑤ 事業概要 (PLAN)

関東かほく会や石川県立看護大学同窓会など関連団体への支援を行うほか、関係人口を創出するため、かほく市出身の首都圏在住者の集いの開催についても検討を進め、地域活性化のための各種事業に参画してもらう仕組みを構築する。

【具体的な取り組み内容】

⑥ 令和2年度取組内容 (PLAN・DO)

同窓会開催支援やかほく市出身者による交流の場の創出に向け、新たな制度づくりに着手した。

⑦ 基本目標のKPI (PLAN)

- ・社会増減数(転入者数-転出者数)を+150人とする
- ・主なかほく市の観光施設の入込客数を700千人とする

現況値 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 累計値

助成金利用団体数	目標		1	2	2	3	3	3
	実績	1	0					

	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI及び実績 (PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	200	200				400
	うち一財	200	200				400
	B. 管理費(人件費・事務費)	791	869				1,660
	うち一財	762	835				1,597
	総事業費(A+B)	991	1,069	0	0	0	2,060
	うち一財	962	1,035	0	0	0	1,997
一般財源割合(%)		97.1	96.8	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	96.9
決算	A. 事業費	200					200
	うち一財	200					200
	B. 管理費(人件費・事務費)	886					886
	うち一財	855					855
	総事業費(A+B)	1,086	0	0	0	0	1,086
	うち一財	1,055	0	0	0	0	1,055
一般財源割合(%)		97.1	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97.1

方針 2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

⑨ 令和3年度以降の方針 (CHECK・ACT)

理由 市出身者及び市にゆかりのある方など、関係人口に位置付けられる方々の視点を的確に施策へ反映させ、地域活性化を図る必要がある。

対応方針 関係人口を創出し地域活性化に資する事業等への参画を促すことにより、外部からの視点を施策に活かし地域活性化を図ることが必要であるため、引き続き制度構築に向け検討を進める。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

方針 2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

意見 市の提案のとおり進めること。

担当課 総務課秘書室

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 2. かほく市に新しいひとの流れをつくる

② 基本方針 1. かほく市とのつながりを構築

◇事業内容(PCDAサイクル)

③ 事業番号・名 2-①-3 ふるさと納税寄附金制度の推進

④ 予算事業名 (PLAN) ふるさと納税寄附金事業

⑤ 事業概要 (PLAN) かほく市特産品ブランド商品等をふるさと納税ポータルサイトやパンフレットを通じて広く全国へ発信し、かほく市の知名度向上や特産品のPRを図ることで、かほく市への愛着醸成と、自主財源の確保を図る。また、ふるさと納税制度に関して適正な制度運用を図るため、国の通知に沿って返礼品の拡充等を行い、より親しみのある、使いやすい制度を目指す。

【具体的な取り組み内容】

⑥ 令和2年度取組内容 (PLAN・DO) ・ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」、「ふるなび」、「さとふる」を利用し、インターネットでの申込窓口を広く構えるとともに、マルチペイメント（コンビニ決済等）を活用し、決済手段の充実を図った。
・かほく市特産品ブランド認証制度の認証品など、返礼品の種類を拡充し、新規寄附者の獲得を図った。
・リピーター確保に向け、これまでに寄附をいただいた方へパンフレットを送付した。
・10月1日よりかほく市に本社を置く（株）PFUのスキナー「ScanSnap」を返礼品に追加し、更なるラインアップの充実を図った。

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・社会増減数（転入者数-転出者数）を+150人とする
・主なかほく市の観光施設の入込客数を700千人とする

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
寄附件数 (件)	目標		1,700	1,700	1,750	1,750	1,800	8,700
	実績	1,658	4,140					
寄附金額 (千円)	目標		62,500	62,500	65,000	65,000	67,500	322,500
	実績	62,168	356,483					

⑧ 当該事業目標KPI及び実績 (PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	18,188	123,517				141,705
	うち一財	18,188	123,517				141,705
	B. 管理費(人件費・事務費)	9,978	11,469				21,447
	うち一財	9,620	10,999				20,619
	総事業費(A+B)	28,166	134,986	0	0	0	163,152
	うち一財	27,808	134,516	0	0	0	162,324
一般財源割合(%)		98.7	99.7	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	99.5
決算	A. 事業費	150,332					150,332
	うち一財	150,332					150,332
	B. 管理費(人件費・事務費)	12,019					12,019
	うち一財	10,875					10,875
	総事業費(A+B)	162,351	0	0	0	0	162,351
	うち一財	161,207	0	0	0	0	161,207
一般財源割合(%)		99.3	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	99.3

方針 2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

⑨ 令和3年度以降の方針 (CHECK・ACT)

理由	ScanSnapを返礼品に加えたことにより、新規寄附者が大幅に増え、市の知名度向上及び新たな人とのつながりを構築することができた。これを契機に、他の返礼品の魅力もさらに発信し、リピーターとなってもらえるよう努める必要がある。
対応方針	引き続き、市特産品ブランド認証制度の認証品を返礼品に加え、寄附者の選択肢の充実を図るとともに、寄附者の意見に耳を傾け、申請手続きにおける利便性の向上や分かりやすい情報発信など、応援し続けたいと思ってもらえるような制度を展開していく。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

方針	2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	市の提案のとおり進めること。

担当課

企画情報課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 2. かほく市に新しいひとの流れをつくる

② 基本方針 1. かほく市とのつながりを構築

◇事業内容(PCDAサイクル)

③ 事業番号・名 2-①-4 企業版ふるさと納税の活用促進

④ 予算事業名 (PLAN) 企画調整事業 2-1-7 (1-1)

⑤ 事業概要 (PLAN)

地方創生に資する事業について、企業版ふるさと納税の活用を促進する。総合戦略推進計画に記載されている事業の実施に係る財源の確保に努めるとともに、企業とのつながりを強化し、まちづくりへの参画を促す。

【具体的な取り組み内容】

子ども屋内運動施設「かほつくる」に、健康管理設備として体温検知システムを設置した。

⑥ 令和2年度取組内容 (PLAN・DO)

- ・寄付企業：(株)ツルガ薬局
- ・寄付金額：1,000千円
- ・事業費：1,323千円

⑦ 基本目標のKPI (PLAN)

- ・社会増減数(転入者数-転出者数)を+150人とする
- ・主なかほく市の観光施設の入込客数を700千人とする

現況値 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 累計値

寄付企業数	目標	1	1	1	1	1	5
	実績	1					

	目標						
	実績						

⑧ 当該事業目標KPI及び実績 (PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	0	0				0
	うち一財	0	0				0
	B. 管理費(人件費・事務費)	0	434				434
	うち一財	0	417				417
	総事業費(A+B)	0	434	0	0	0	434
	うち一財	0	417	0	0	0	417
一般財源割合(%)		#DIV/0!	96.1	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	96.1
決算	A. 事業費	0					0
	うち一財	0					0
	B. 管理費(人件費・事務費)	332					332
	うち一財	320					320
	総事業費(A+B)	332	0	0	0	0	332
	うち一財	320	0	0	0	0	320
一般財源割合(%)		96.4	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	96.4

方針 2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

⑨ 令和3年度以降の方針 (CHECK・ACT)

理由 内閣府へ提出している地域再生計画では、令和6年度までの間に企業版ふるさと納税を活用した事業を継続して行う必要がある。

対応方針 第2期総合戦略推進計画で計画している地方創生に資する事業への活用を促進するため、大手旅行会社やふるさと納税サイトなどのポータルサイトを活用し効果的な広報を展開していく。

【外部評価委員会後事務局で記載】

方針 2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

意見 市の提案のとおり進めること。

担当課

企画情報課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

- ① 基本目標 2. かほく市に新しいひとの流れをつくる
- ② 基本方針 2. 子育て世代や若者の呼び込みと定着の推進

◇事業内容(PCDAサイクル)

- ③ 事業番号・名 2-②-1 移住定住及び定着に向けた経済的な支援

- ④ 予算事業名 (PLAN) 定住促進事業 2-1-7 (4-1)

- ⑤ 事業概要 (PLAN) 本市への移住定住を促進し、定住人口の増加を図るため、新婚さん住まい応援事業、UIJターン住まい補助金、若者マイホーム取得奨励金などの制度を継続して実施するとともに、ニーズや環境の変化に即した制度への見直しを行いながら、より効果的に若者世代の転入の促進と転出の抑制が図られるよう事業を推進する。

【具体的な取り組み内容】

- ⑥ 令和2年度 取組内容 (PLAN・DO)
 - かほく市への移住・定住及びかほく市からの転出の抑制に向け、以下の施策を継続実施
 - ・若者マイホーム取得奨励金 ⇒交付件数：185件、交付金額：126,920千円
 - ・新婚さん住まい応援事業補助金 ⇒交付件数：174件、交付金額：22,605千円
 - ・お試し移住体験事業 ⇒参加者数：1組(2名)
 - ・UIJターン住まい補助金 ⇒交付件数：2件、交付金額：480千円

- ⑦ 基本目標のKPI (PLAN)
 - ・社会増減数(転入者数-転出者数)を+150人とする
 - ・主なかほく市の観光施設の入込客数を700千人とする

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
社会増減数 (転入者数-転出者数)	目標		150	150	150	150	150	750
	実績	148	207					—

⑧ 当該事業目標KPI 及び実績 (PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	101,777	108,195				209,972
	うち一財	56,376	9,195				65,571
	B. 管理費(人件費・事務費)	4,350	4,779				9,129
	うち一財	4,191	4,589				8,780
	総事業費(A+B)	106,127	112,974	0	0	0	219,101
	うち一財	60,567	13,784	0	0	0	74,351
一般財源割合(%)		57.1	12.2	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	33.9
決算	A. 事業費	150,118					150,118
	うち一財	104,718					104,718
	B. 管理費(人件費・事務費)	4,872					4,872
	うち一財	4,700					4,700
	総事業費(A+B)	154,990	0	0	0	0	154,990
	うち一財	109,418	0	0	0	0	109,418
一般財源割合(%)		70.6	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	70.6

⑨ 令和3年度以降の方針 (CHECK・ACT)

方針	2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5.廃止
理由	お試し移住体験から若者マイホーム取得奨励金まで若い世代をターゲットにした定住促進施策を展開しており、当該制度を活用した移住・定住の効果により、社会増に大きく寄与しているため今後も推進する必要がある。
対応方針	シティプロモーション事業と連動し、住みよさや子育て環境の充実をPRし、移住・定住者の拡大に努める。また、市内在住者が市外へ転出しない(転出抑制)よう、効果的な施策を検討していく。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

方針	2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5.廃止
意見	市の提案のとおり進めること。

担当課

企画情報課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標

2. かほく市に新しいひとの流れをつくる

② 基本方針

2. 子育て世代や若者の呼び込みと定着の推進

◇事業内容(PCDAサイクル)

③ 事業番号・名

2-②-2 シティプロモーションによるPR活動の推進

④ 予算事業名
(PLAN)

定住促進事業
2-1-7 (4-1)

⑤ 事業概要
(PLAN)

「子育て支援の充実」と「住宅取得支援」をキーワードに、本市の住み良さをブランディングし、シティプロモーションを行うことで移住・交流を促し、定住人口増加につなげるとともに、本市の様々な企業立地助成制度や新しい生活様式及び労働環境の導入支援策をPRするなど、「企業」をターゲットに加えることにより、「ひと」と「しごと」を結ぶプロモーションも新たに展開する。
また、本市出身で芸術文化、芸能、スポーツなどの各分野で活躍する方々に本市をPRしてもらうほか、市の事業にも参画してもらうことで本市の知名度向上を図るなど、様々な手法でかほく市の住みよさや定住促進施策等の周知を図る。

【具体的な取り組み内容】

⑥ 令和2年度
取組内容
(PLAN・DO)

芸術文化、芸能、スポーツの分野で活躍する、本市出身やゆかりのある方々に「ふるさと大使」として活動頂くため、委嘱状を交付し、様々な方面でかほく市のPRを行っていただいた。
また、ふるさと大使出演の新CMを制作し民法テレビやYoutubeでのバンパー広告などで市のPRを行った。

⑦ 基本目標のKPI
(PLAN)

- ・社会増減数(転入者数-転出者数)を+150人とする
- ・主なかほく市の観光施設の入込客数を700千人とする

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
社会増減数 (転入者数-転出者数)	目標		150	150	150	150	150	750
	実績	148	207					—

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績
(PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	8,011	6,407				14,418
	うち一財	8,011	6,307				14,318
	B. 管理費(人件費・事務費)	2,372	2,124				4,496
	うち一財	2,286	2,039				4,325
	総事業費(A+B)	10,383	8,531	0	0	0	18,914
	うち一財	10,297	8,346	0	0	0	18,643
一般財源割合(%)		99.2	97.8	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	98.6
決算	A. 事業費	7,195					7,195
	うち一財	7,195					7,195
	B. 管理費(人件費・事務費)	2,657					2,657
	うち一財	2,564					2,564
	総事業費(A+B)	9,852	0	0	0	0	9,852
	うち一財	9,759	0	0	0	0	9,759
一般財源割合(%)		99.1	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	99.1

⑨ 令和3年度以降
の方針
(CHECK・ACT)

方針	2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5.廃止
理由	これまでのプロモーションにより、住みやすさや子育てのしやすさといったイメージの定着やブランディングに一定の成果が得られたが、今後も引き続き、県外在住者、市外在住者の獲得や転出抑制を図るために継続して取り組む必要がある。
対応方針	ふるさと大使に委嘱した2名にSNS等を活用した本市のPRを実施してもらうとともに、ターゲットに合わせたプロモーションを展開し、住みよさや定住促進施策等を周知していく。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見
(CHECK・ACT)

方針	2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5.廃止
意見	市の提案のとおり進めること。

担当課 総務課管財室

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

- ① 基本目標 2. かほく市に新しいひとの流れをつくる
- ② 基本方針 2. 子育て世代や若者の呼び込みと定着の推進

◇事業内容(PCDAサイクル)

③ 事業番号・名 2-②-3 普通財産の分譲化

④ 予算事業名 (PLAN) 一般財産管理事業 2-1-5 (3-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 売却可能な市有地について、市民ニーズを把握しながら長期的な宅地分譲化計画を策定することにより、市有財産の有効活用を図るとともに、分譲販売することで移住・定住の促進を図る。

⑥ 令和2年度取組内容 (PLAN・DO) 【具体的な取り組み内容】
 ・令和2年度開始時点で市営住宅跡地の分譲地は残り3区画(高松1区画、宇気2区画)であった。
 ⇒令和2年度中に高松の1区画を売却。
 ・新たに18区画(高松東町13区画、外日角5区画)の造成工事に着手した。
 ⇒令和3年度完成予定。

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・社会増減数(転入者数-転出者数)を+150人とする
 ・主なかほく市の観光施設の入込客数を700千人とする

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
社会増減数 (転入者数-転出者数)	目標		150	150	150	150	150	750
	実績	148	207					-

⑧ 当該事業目標KPI及び実績 (PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	112,012	109,480				221,492
	うち一財	80,056	73,267				153,323
	B. 管理費(人件費・事務費)	20,702	23,794				44,496
	うち一財	19,958	22,817				42,775
	総事業費(A+B)	132,714	133,274	0	0	0	265,988
	うち一財	100,014	96,084	0	0	0	196,098
一般財源割合(%)		75.4	72.1	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	73.7
決算	A. 事業費	125,460					125,460
	うち一財	105,206					105,206
	B. 管理費(人件費・事務費)	24,935					24,935
	うち一財	22,563					22,563
	総事業費(A+B)	150,395	0	0	0	0	150,395
	うち一財	127,769	0	0	0	0	127,769
一般財源割合(%)		85.0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	85

⑨ 令和3年度以降の方針 (CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	低廉で良質な住宅用宅地を提供し、定住促進に資するため。
対応方針	市営住宅跡地で新たに18区画(高松13区画、外日角5区画)の造成が完了したため、入札による売却を行う。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	市の提案のとおり進めること。

担当課

健康福祉課
(子育て支援課、保険医療課)

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

② 基本方針 1. 安心して子育てできるサポート体制の充実

◇事業内容(PCDAサイクル)

③ 事業番号・名 3-①-1 妊娠から出産・子育てまで切れ目のない経済的な支援

④ 予算事業名 (PLAN) 妊産婦健康診査事業 4-1-2 (2-1) 不妊不育対策事業 4-1-2 (8-1) 赤ちゃんすくすく応援事業 3-2-1 (11-1) 子ども医療費助成事業 4-1-1 (4-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 妊娠期から子育て期にわたり、切れ目のない経済的な支援を実施し、若い世代が安心して出産から子育てできる体制の充実を図るため、不妊不育治療費助成や子ども医療費助成などの事業を継続して実施する。

【具体的な取り組み内容】

・不妊不育治療費助成事業…一般不妊治療費、不育治療費助成事業については、前年度と同様に治療にかかったすべての費用について全額助成⇒延べ25人、3,239千円、不育治療は延べ3人、281千円、なお、特定不妊治療費助成事業については、治療費用から県の助成額を除いた費用について全額助成した。⇒申請延べ62人、19,084千円
 ・妊産婦健康診査事業…医療機関での妊産婦健診費用を助成する。R2度は新たに妊婦歯科健診も医療機関での個別健診に変更した。実績は延べ人数で妊婦3,458人、産婦270人、乳児531人、歯科107人で、35,084千円であった。
 ・赤ちゃんすくすく応援事業 ⇒ 出生届時に本市に住民登録をした新生児の保護者または養育者(※保護者住所も本市の方対象)に対し、新生児1人につき、「かほく市共通商品券」3万円分(1,000円券×30枚)を贈った。274件、8,220千円
 ・子ども医療費助成…満18歳に達する日が属する年度末までの子どもの医療費について全額助成を行った。
 ⇒現物給付:105,093千円(47,594件)、償還払い:3,530千円(407件)計108,623千円

⑥ 令和2年度取組内容 (PLAN・DO)

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・かほく市における出生数 310人

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
出生数	目標		302	304	306	308	310	1,530
	実績	313	272					
	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI及び実績 (PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	189,175	178,458				367,633
	うち一財	175,185	165,538				340,723
	B. 管理費(人件費・事務費)	34,874	36,392				71,266
	うち一財	32,766	33,218				65,984
	総事業費(A+B)	224,049	214,850	0	0	0	438,899
	うち一財	207,951	198,756	0	0	0	406,707
一般財源割合(%)		92.8	92.5	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	92.7
決算	A. 事業費	180,897					180,897
	うち一財	168,337					168,337
	B. 管理費(人件費・事務費)	29,779					29,779
	うち一財	27,419					27,419
	総事業費(A+B)	210,676	0	0	0	0	210,676
	うち一財	195,756	0	0	0	0	195,756
一般財源割合(%)		92.9	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	92.9

⑨ 令和3年度以降の方針 (CHECK・ACT)

方針	2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5.廃止
理由	不妊不育治療などへの助成については、昨今の晩婚化に伴い利用件数の増加がみられるなどニーズが高まっている。他の事業についても若い世代が安心して子育てできる環境づくりのため、国・県の補助などの状況を注視しつつ、引き続き実施していく必要がある。
対応方針	特定不妊治療支援事業について、県がR3年1月より助成対象者の拡大や所得制限の撤廃などの制度改正を行ったことに伴い、かほく市においても同様の制度改正を行う。 その他の事業についても、利用者ニーズ等を的確に捉え、必要な改正を行うこととする。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

方針	2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5.廃止
意見	市の提案のとおり進めること。

担当課 子育て支援課（都市建設課）

◇かほく市創生総合戦略推進計画（総合戦略）の体系

① 基本目標 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

② 基本方針 1. 安心して子育てできるサポート体制の充実

◇事業内容(PCDAサイクル)

③ 事業番号・名 3-①-2 親と子がともに健やかに成長できる環境づくり

④ 予算事業名 (PLAN)	児童手当給付費	児童扶養手当給付費	母子父子福祉事業	子ども・子育て支援事業
	地域少子化対策事業	子育て世帯臨時特別給付金事業	こども園一般管理事業	子育て支援センター事業
	ファミリーサポートセンター事業	子ども総合センター事業	子育て世帯臨時特別給付金事業	子育て世代生活支援給付金給付事業
	ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業	赤ちゃんすくすく特別定額給付金事業		

⑤ 事業概要 (PLAN) 子ども総合センターおひさままでの相談体制の強化を図るとともに、子育てママリフレッシュ事業やペアレンティングプログラム講座を通して、親の成長と子どもの健やかな成長を支援する。また、働きながら安心して子育てができるよう延長保育、一時保育などの保育サービスの充実を図るとともに、こども園や学童保育、全天候型屋内遊戯施設（谷公園リニューアル）等について、新たな生活様式に配慮しつつ計画的な施設整備を行い、子育て環境の充実を図る。

【具体的な取り組み内容】

- ・子育てママリフレッシュ事業及びペアレンティングプログラム講座を継続実施。
- ・こども園において登降園管理システムを導入し、スマートフォンで園との連携を図り、働く保護者のサポートを強化した。
- ・谷公園内にある金津体育館を利用し、天候に左右されずに親子が楽しく遊べる屋内運動施設「かほくく」を整備。
- ・「子ども総合センター（おひさま）」にて、子育てに関する相談・支援業務を実施。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受ける子育て世帯の家計支援として、各種給付金事業を実施した。

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・かほく市における出生数 310人

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
出生数	目標		302	304	306	308	310	1,530
	実績	313	272					
「おひさま」利用者数	目標		18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	90,000
	実績	18,000	16,438					

⑧ 当該事業目標KPI 及び実績 (PLAN・DO・CHECK)

年度・単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	1,833,193	1,883,606				3,716,799
	うち一財	744,024	750,801				1,494,825
	B. 管理費(人件費・事務費)	761,238	748,931				1,510,169
	うち一財	719,882.0	708,857				1,428,739
	総事業費(A+B)	2,594,431	2,632,537	0	0	0	5,226,968
	うち一財	1,463,906	1,459,658	0	0	0	2,923,564
一般財源割合(%)		56.4	55.4	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	55.9
決算	A. 事業費	1,940,692					1,940,692
	うち一財	773,524					773,524
	B. 管理費(人件費・事務費)	611,678					611,678
	うち一財	589,673.0					589,673
	総事業費(A+B)	2,552,370	0	0	0	0	2,552,370
	うち一財	1,363,197	0	0	0	0	1,363,197
一般財源割合(%)		53.4	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	53.4

方針 2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

⑨ 令和3年度以降の方針 (CHECK・ACT)

理由 子育て相談などの支援事業や子どもが安心して遊べる環境づくりなど、様々な角度からの子育て支援をサポートし、子育て世帯の利便性を高める。

対応方針 民間の子育て支援センターも活用し幅広く育児に関する相談場所の提供を行うほか、こども総合センターの各種育児サポート事業についても、保護者のニーズをとらえ実施する。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

方針 2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

意見 市の提案のとおり進めること。

担当課 子育て支援課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

② 基本方針 1. 安心して子育てできるサポート体制の充実

◇事業内容(PCDAサイクル)

③ 事業番号・名 3-①-3 幼児教育の環境整備

④ 予算事業名 (PLAN) こども園一般管理事業 3-2-1 (2-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 幼児から児童までの健やかな成長を支援するため、遊びや運動を通して体幹や心を鍛え豊かにするプロジェクトを推進するとともに、子どもが確かな学力の基礎を身につけることができるよう、こども園・学校・地域が連携を図りながら、幼児教育環境の充実を図る。

【具体的な取り組み内容】

⑥ 令和2年度取組内容 (PLAN・DO) ・幼児造形事業
市全ての0~5歳児の手指の巧緻性や表現力、学びの芽(探索・探求・試行錯誤など考える力)を培う。
・子ども健やか心身成長プロジェクト
4歳児の運動遊びを実施(5歳児のアクロスプールでの水泳指導はコロナウイルスにより事業中止)
・幼小連携協議会の開催
配慮が必要な子ども等の情報交換や支援方針など理解を深めるとともに、幼児教育と小学校教育の接続について、共通理解を図った。

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・かほく市における出生数 310人

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
出生数	目標		302	304	306	308	310	1,530
	実績	313	272					
造形事業満足率	目標		83.0	83.0	83.0	83.0	83.0	—
	実績	82.4	81.5					—

⑧ 当該事業目標KPI及び実績 (PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	4,452	3,428				7,880
	うち一財	4,452	3,428				7,880
	B. 管理費(人件費・事務費)	26,222	25,826				52,048
	うち一財	24,797	24,444				49,241
	総事業費(A+B)	30,674	29,254	0	0	0	59,928
うち一財	29,249	27,872	0	0	0	57,121	
一般財源割合(%)		95.4	95.3	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	95.3
決算	A. 事業費	2,702					2,702
	うち一財	2,702					2,702
	B. 管理費(人件費・事務費)	21,024					21,024
	うち一財	20,267					20,267
	総事業費(A+B)	23,726	0	0	0	0	23,726
うち一財	22,969	0	0	0	0	22,969	
一般財源割合(%)		96.8	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	96.8

方針 2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

⑨ 令和3年度以降の方針 (CHECK・ACT)

理由 デジタルフォトフレームや造形展示会などにより日々の保育内容を広く保護者に見ていただくことで、造形活動への理解を得ている。また児童の成長過程からその効果を推し量るためにも、今後も継続して実施していきたい。

対応方針 幼児造形事業については、事業趣旨について保護者の理解も浸透してきており、また、各園においても効果的な実施手法などの理解も深まってきていることをうけ、今後の手法について更なる検討を行う。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

方針 2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

意見 市の提案のとおり進めること。

担当課 生涯学習課（子育て支援課）

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

② 基本方針 1. 安心して子育てできるサポート体制の充実

◇事業内容(PCDAサイクル)

③ 事業番号・名 3-①-4 男女共同参画による調和のとれた子育てと就業環境の整備

④ 予算事業名 (PLAN) 男女共同参画社会推進事業 地域少子化対策事業 3-2-1 (15-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 出産や子育てを機に離職した女性や、出産後も働きながら子育てしたいという女性の社会進出を支援する。また、働きながら子育てをする育児ママなどすべての人が仕事と家庭生活のバランスがとれる多様な働き方を選択できるよう、労働環境の改善のための企業への働きかけや、就業・創業機会の創出を図る。

【具体的な取り組み内容】

⑥ 令和2年度取組内容 (PLAN・DO) 【男女共同参画】
・市内連絡会により各課の取組、計画、実績を確認し、推進審議会に諮るとともに、市民への周知・推進に努める。⇒R2年度：R1施策の実施状況報告を審議会に報告し、HPにて掲載・公表済み。苦情処理委員会の該当案件無し。
【育児応援事業所奨励金】
・育児休業を6ヶ月以上取得し、復職後1ヶ月以上雇用した市内在住の従業員1人に対し事業所へ200千円を交付する育児応援事業所奨励金制度を実施。⇒6件、1,200千円

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・かほく市における出生数 310人

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
出生数	目標		302	304	306	308	310	1,530
	実績	313	272					
育児応援事業所奨励金交付件数	目標		2	2	2	2	2	10
	実績	1	6					

⑧ 当該事業目標KPI及び実績 (PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	635	635				1,270
	うち一財	635	635				1,270
	B. 管理費(人件費・事務費)	8,489	8,247				16,736
	うち一財	8,058	7,837				15,895
	総事業費(A+B)	9,124	8,882	0	0	0	18,006
	うち一財	8,693	8,472	0	0	0	17,165
一般財源割合(%)		95.3	95.4	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	95.3
決算	A. 事業費	1,261					1,261
	うち一財	1,261					1,261
	B. 管理費(人件費・事務費)	7,065					7,065
	うち一財	6,807					6,807
	総事業費(A+B)	8,326	0	0	0	0	8,326
	うち一財	8,068	0	0	0	0	8,068
一般財源割合(%)		96.9	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	96.9

方針 2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

⑨ 令和3年度以降の方針 (CHECK・ACT)

理由	・小規模な事業所においても育児休業制度を創設してもらい、子育て環境の充実を図る必要がある。 ・女性の社会進出などを支援する為には、男女共同参画社会推進審議会や苦情処理委員会が必要不可欠である。
対応方針	・国の就業環境・育児休業等の制度対応を注視し、ニーズ・効果及び今後の制度の在り方を検討しながら実施する。 ・男女関係ない平等な社会推進のためにも、審議会や処理委員会による監視機能を継続していく。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	市の提案のとおり進めること。

担当課

学校教育課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

② 基本方針 2. きめ細かな学校教育の推進

◇事業内容(PCDAサイクル)

③ 事業番号・名 3-②-1 学力調査の実施と小学校全学年での35人以下学級編制の充実

④ 予算事業名 (PLAN)
 (小学校) 学力向上対策事業 10-2-2 (9-1) (中学校) 学力向上対策事業 10-3-2 (11-1) 小学校総合管理費 10-2-1 (10-1) の一部

⑤ 事業概要 (PLAN)
 国、県で実施する学力調査に加え、小学校3年生以上の全学年で学力調査を実施する。また、小学校全学年で35人以下学級編制を行い、きめ細かな学習環境のもと「生きる力」の育成を図る。

【具体的な取り組み内容】

⑥ 令和2年度取組内容 (PLAN・DO)

・小学3、5年生、中学1、2年生を対象に、国・県(小学4.6、中学3)の学力調査に合わせ実施。
 *小学3年生(国語・算数) *小学5年生(国語・算数)
 *中学1年生(国語・数学・理科・社会) *中学2年生(国語・数学・理科・社会・英語)
 ・平成27年度から小学校5年と6年において35人以下学級を継続して実施。
 ※小学校1年から4年までの35人以下学級は国及び県事業として実施。
 ・令和2年度：講師1名採用〔宇ノ気小6年3クラス⇒4クラス〕
 ※国で毎年行っている学習状況調査が実施されなかった。

⑦ 基本目標のKPI (PLAN)

・かほく市における出生数 310人

	現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
全国学力・学習状況調査で「児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づく、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している」と回答した学校数	目標(小学校)	6校	6校	6校	6校	6校	—
	実績	4校	—				—
	目標(中学校)	3校	3校	3校	3校	3校	—
	実績	2校	—				—

⑧ 当該事業目標KPI及び実績 (PLAN・DO・CHECK)

年度・単位(千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
A. 事業費	22,009	22,641				44,650
	うち一財	22,009	22,641			44,650
	B. 管理費(人件費・事務費)					
	うち一財	9,231	10,470			19,701
	総事業費(A+B)	38,235	41,653	0	0	79,888
うち一財	31,240	33,111	0	0	64,351	
一般財源割合(%)	81.7	79.5	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	80.6
A. 事業費	56,988					56,988
	うち一財	54,802				54,802
	B. 管理費(人件費・事務費)					
	うち一財	8,818				8,818
	総事業費(A+B)	72,270	0	0	0	72,270
うち一財	63,620	0	0	0	63,620	
一般財源割合(%)	88.0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	88

⑨ 令和3年度以降の方針 (CHECK・ACT)

方針	2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	市独自の学力調査を実施することにより、基礎・基本の定着と活用力の向上を図ることができる。また、小学校全学年35人以下学級も実施することにより、一人ひとりをしっかり見取り、個に応じたきめ細やかな指導や支援を行うことで、児童が落ち着いて学習に取り組める環境をつくることのできる。
対応方針	児童生徒が生き生きとした学校生活が送れるように引き続き上記の市独自の取組を実施していく。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

方針	2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	市の提案のとおり進めること。

担当課

学校教育課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

② 基本方針 2. きめ細かな学校教育の推進

◇事業内容(PCDAサイクル)

③ 事業番号・名 3-②-2 多様なニーズに対応した教育機会の提供・支援事業

④ 予算事業名 (PLAN) 教育センター費 10-1-2 (7-1) (小学校) 特別支援教育支援員配置事業 10-2-2 (11-1) (中学校) 教育相談員配置事業 10-3-2 (8-1) (中学校) 特別支援教育支援員配置事業 10-3-2 (9-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 児童生徒一人ひとりの状況に応じた適切な対応ができるよう、特別支援教育支援員や教育相談員などの必要な人材を配置し、支援が必要な児童生徒や不登校及び不登校傾向の児童生徒の増加に対応する。また、児童生徒1人1台端末を整備し、ICT機器を活用した一人ひとりの習熟度に応じた学習を進める。さらに、学校の臨時休業時や病気等の長期欠席、不登校児童生徒にも対応できるオンラインでの学習について取り組む。

【具体的な取り組み内容】

- ・特別支援教育支援員を配置(小学校 14名、中学校 3名)
 - ・不登校児童生徒等の支援として訪問型支援等の教育相談員を配置(各中学校を拠点に1名配置 計3名)
 - ・スクールカウンセラー等の小中学校への配置(県費)、各校2~3回/月
 - ・教育支援センター「すまいる」における不登校児童生徒への学校復帰支援を実施(教育相談員2名配置)
 - ・教育相談事業の充実(臨床心理士等による教育相談の実施)
- ※国で毎年行っている学習状況調査が実施されなかった。

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・かほく市における出生数 310人

	現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
学習状況調査で「教員は、特別支援教育について理解し、児童・生徒の特性に応じた指導上の工夫をよく行った」と回答した学校数	目標	5校	7校	8校	9校	9校	—
	実績	4校	—				—
教育センターへの来所相談、訪問相談、電話相談の件数	目標	60件	100件	100件	100件	100件	—
	実績	50件	159件				—

⑧ 当該事業目標KPI 及び実績 (PLAN・DO・CHECK)

年度・単位(千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	62,945	64,896			127,841
	うち一財	62,945	64,896			127,841
	B. 管理費(人件費・事務費)	70,882	77,814			148,696
	うち一財	40,329	42,852			83,181
	総事業費(A+B)	133,827	142,710	0	0	276,537
	うち一財	103,274	107,748	0	0	211,022
一般財源割合(%)	77.2	75.5	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	76.3
決算	A. 事業費	58,445				58,445
	うち一財	53,045				53,045
	B. 管理費(人件費・事務費)	66,759				66,759
	うち一財	38,521				38,521
	総事業費(A+B)	125,204	0	0	0	125,204
	うち一財	91,566	0	0	0	91,566
一般財源割合(%)	73.1	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	73.1

方針 2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5.廃止

⑨ 令和3年度以降の方針 (CHECK・ACT)

理由 発達障害や不登校など特別な支援が必要な児童生徒は、年々増加している。学習支援や社会的自立支援を行う特別支援教育支援員や教育相談員等は、児童生徒の学年や学級の集団として所属意識を高め、自己存在感をもたせるための重要な役割を担っており、今後も組織的、継続的な取り組みや支援の充実が必要である。

対応方針 学校現場のニーズ把握に努めながら、今後も特別支援教育支援員や教育相談員等の必要な人材配置を行い、引き続き適切な支援を行う。
なお、KPI②についてはR2年度実績値を踏まえ、R3以降の目標値を毎年「100件」に変更する。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

方針 2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5.廃止

意見 金融教育などの導入について、民間との連携も視野に検討を進めること。

担当課

生涯学習課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

② 基本方針 2. きめ細かな学校教育の推進

◇事業内容(PCDAサイクル)

③ 事業番号・名 3-②-3 学校を核とした地域活力(地域教育力)向上事業

④ 予算事業名(PLAN)

学校を核とした地域力活性化事業
10-4-7 (5-1)

⑤ 事業概要(PLAN)

子どもたちと地域住民が関わる「学校運営や支援」を媒体として、地域の活力・教育力を高め、地域コミュニティの活性化と学校教育の充実を図る。
また、リモートによる授業支援や地域交流などの実施に向けた環境の整備について検討を進める。

⑥ 令和2年度取組内容(PLAN・DO)

【具体的な取り組み内容】

①学校運営協議会の開催：協議会を年3回開催。新型コロナの影響で例年より1回減。学校の運営方針や評価の承認、学校と地域の協働について協議。
②学校コーディネーターの配置と研修会の開催：定期連絡会を月1回程度行い、学校間の情報交換等を実施。
③学校支援ボランティアの充実 ④地域住民への啓発
⑤コミュニティ・スクールプラン補助金の交付
(小高582,000円、大海517,000円、七小294,252円、外小553,000円、宇小480,000円、金津545,000円、高中478,661円、河中292,000円、宇中243,707円 計3,985,620円)

⑦ 基本目標のKPI(PLAN)

・かほく市における出生数 310人

⑧ 当該事業目標KPI及び実績(PLAN・DO・CHECK)

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
学校評価における肯定的な評価結果の割合	目標		86.0%	87.0%	88.0%	89.0%	90.0%	—
	実績	86.0%	86.0%					
		目標						
		実績						
年度:単位(千円)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費		25,505	26,893				52,398
	うち一財		25,505	26,893				52,398
	B. 管理費(人件費・事務費)		5,317	5,046				10,363
	うち一財		5,112	4,863				9,975
	総事業費(A+B)		30,822	31,939	0	0	0	62,761
	うち一財		30,617	31,756	0	0	0	62,373
一般財源割合(%)			99.3	99.4	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	99.4
決算	A. 事業費		20,714					20,714
	うち一財		20,714					20,714
	B. 管理費(人件費・事務費)		5,265					5,265
	うち一財		5,062					5,062
	総事業費(A+B)		25,979	0	0	0	0	25,979
	うち一財		25,776	0	0	0	0	25,776
一般財源割合(%)			99.2	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	99.2

⑨ 令和3年度以降の方針(CHECK・ACT)

方針	2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5. 廃止
理由	学校活動に関する協働についてはこれまでと同様に実施し、さらに社会教育の面から協働活動を推進。
対応方針	公民館活動、社会教育団体活動において親子や多世代の子どもたちが共に活動する事業を実施。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見(CHECK・ACT)

方針	2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5. 廃止
意見	市の提案のとおり進めること。

担当課

企画情報課（都市建設課）

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 4. 安心して暮らすことができる魅力的なかほく市をつくる

② 基本方針 1. 住みよいまちの創造

◇事業内容(PCDAサイクル)

③ 事業番号・名 4-①-1 国土強靱化地域計画の着実な遂行

④ 予算事業名 (PLAN) 企画調整事業 2-1-7 (1-1) 道路橋りょう維持管理事業 8-2-2 (1-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 近年多発している大きな災害に備え、令和元年度に策定した「かほく市国土強靱化地域計画」に基づき実施される防災・減災等に資する様々な取り組みを着実に実施し、市民が安全安心に暮らすことができるまちづくりを推進する。

【具体的な取り組み内容】

⑥ 令和2年度取組内容 (PLAN・DO) 「かほく市国土強靱化地域計画」に定められた推進方針の進捗状況及び目標指数（KPI）の達成度合いを把握し、着実な計画事業実施の推進を図る。
社会資本整備総合交付金緊急対策分を活用し、以下の工事を施工した。
・市道内日角1号線、湖北1号線の舗装改修
・市道外日角51号線消雪井戸改修

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・かほく市を「住み良い」「まあまあ住み良い」と回答した市民の割合 80%

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
国土強靱化地域計画におけるKPI達成率	目標		—	—	—	—	—	75%
	実績	—	—					
	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI及び実績 (PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	0	325,428				325,428
	うち一財	0	48,379				48,379
	B. 管理費(人件費・事務費)	0	34,544				34,544
	うち一財	0	31,893				31,893
	総事業費(A+B)	0	359,972	0	0	0	359,972
	うち一財	0	80,272	0	0	0	80,272
一般財源割合(%)		0.0	22.3	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	22.3
決算	A. 事業費	29,931					29,931
	うち一財	1,631					1,631
	B. 管理費(人件費・事務費)	4,050					4,050
	うち一財	3,519					3,519
	総事業費(A+B)	33,981	0	0	0	0	33,981
	うち一財	5,150	0	0	0	0	5,150
一般財源割合(%)		15.2	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	15.2

方針 2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

⑨ 令和3年度以降の方針 (CHECK・ACT)

理由	強靱な行政機能や地域社会を作り上げるため、国土強靱化地域計画に定めた個別事業を進め、道路ネットワークが確保できるよう道路の防災・減災対策を行い災害に強い地域づくりを進める必要がある。
対応方針	各所管課において行う個別事業の進捗状況を把握するとともに、国の法改正等の状況を注視し、国土強靱化地域計画の必要な改正等を行う。国の交付金等を有効に活用しながら対策工事を実施する。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

方針	2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	市の提案のとおり進めること。

担当課

企画情報課（長寿介護課）

◇かほく市創生総合戦略推進計画（総合戦略）の体系

① 基本目標 4. 安心して暮らすことができる魅力的なかほく市をつくる

② 基本方針 1. 住みよいまちの創造

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 4-①-2 新技術を活用したまちづくりの推進

④ 予算事業名 (PLAN) いきいきシニア活動支援事業 3-1-3(25-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) AI、IoT、5Gなどの新技術の活用に加え、高齢化社会を見据え民間事業者と連携したキャッシュレスなどの普及促進を図る。

【具体的な取り組み内容】

⑥ 令和2年度 取組内容 (PLAN・DO) 市民生活の利便性向上に繋がる新技術の活用例などの情報収集を行い、かほく市の実情に応じた効果的なツールや導入方法などを検討するとともに、高齢者向けの普及促進手法についても検討を行う。また、民間事業者や金融機関等と連携した先進技術導入事例の紹介などの実施に向け、協力体制を構築する。
・スマホとパソコン安心教室（スマホ講座・パソコン広場）の開催（計51回 371人参加）

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・かほく市を「住み良い」「まあまあ住み良い」と回答した市民の割合 80%

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
スマホ・パソコン講座参加者数	目標		—	350	400	400	400	—
	実績	—	371					
		目標						
		実績						

⑧ 当該事業目標KPI 及び実績 (PLAN・DO・CHECK)

年度・単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	4,889	4,992				9,881
	うち一財	4,889	4,992				9,881
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,971	1,894				3,865
	うち一財	1,653	1,533				3,186
	総事業費(A+B)	6,860	6,886	0	0	0	13,746
	うち一財	6,542	6,525	0	0	0	13,067
一般財源割合(%)		95.4	94.8	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	95.1
決算	A. 事業費	2,909					2,909
	うち一財	2,909					2,909
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,866					1,866
	うち一財	1,519					1,519
	総事業費(A+B)	4,775	0	0	0	0	4,775
	うち一財	4,428	0	0	0	0	4,428
一般財源割合(%)		92.7	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	92.7

方針 2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

⑨ 令和3年度以降の方針 (CHECK・ACT)

理由 コロナ禍で様々なことのオンライン化が進む中、シニア世代にもIT技術の習得は必要不可欠となりつつある。市民の生活の質の向上のためにも引き続き支援が必要である。

対応方針 長引くコロナ禍にも対応できる、キャッシュレス決済や、コミュニケーションツール（LINE、Zoom等）利用支援に努める。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

方針 2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

意見 民間企業との連携を検討すること。

担当課

企画情報課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 4. 安心して暮らすことができる魅力的なかほく市をつくる

② 基本方針 1. 住みよいまちの創造

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名 4-①-3 新技術を活用した行政機能の効率化

④ 予算事業名 (PLAN) 企画調整事業 2-1-7 (1-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) RPA及びA I等の先進技術導入による定型業務の自動化に取り組むとともに、行政手続きのオンライン化やワンストップ化、また、マイナンバーカードの活用による新たなサービス導入の可能性を検討する。また、市税をはじめ、各種手数料・使用料などの支払いへのキャッシュレス決済導入に向けた検討を行い、市民、納税者及び施設利用者等の利便性向上を図る。

【具体的な取り組み内容】

⑥ 令和2年度取組内容 (PLAN・DO) 定型業務の自動化に関しては、職員向けの研修を実施するとともに、かほく市にとって導入効果が高いと判定した福祉分野の3業務で導入を図った。また、令和3年5月より市役所窓口における各種証明書等の発行手数料の支払いにクレジットカード、電子マネー、QRコード決済を導入することとし、関係機関との調整を図った。(※R3年5月導入済)

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・かほく市を「住み良い」「まあまあ住み良い」と回答した市民の割合 80%

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
業務効率化 時間数	目標		200	200	200	200	200	1,000
	実績	—	213					
	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI及び実績 (PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	0	3,269				3,269
	うち一財	0	3,269				3,269
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,087	1,195				2,282
	うち一財	1,048	1,147				2,195
	総事業費(A+B)	1,087	4,464	0	0	0	5,551
	うち一財	1,048	4,416	0	0	0	5,464
一般財源割合(%)		96.4	98.9	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	98.4
決算	A. 事業費	1,763					1,763
	うち一財	1,763					1,763
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,218					1,218
	うち一財	1,175					1,175
	総事業費(A+B)	2,981	0	0	0	0	2,981
	うち一財	2,938	0	0	0	0	2,938
一般財源割合(%)		98.6	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	98.6

方針 2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

⑨ 令和3年度以降の方針 (CHECK・ACT)

理由	全庁的なデジタル化の横展開における中心的な取り組みとして継続実施する必要がある。
対応方針	令和2年度は福祉分野の3業務でRPAを導入し、年間で213時間の業務時間の削減効果があった。以後、対象業務を拡大させ、更なる事務の効率化、職員の働き方改革につなげ、庁内のデジタル化を推進していく。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	市の提案のとおり進めること。

担当課

企画情報課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標

4. 安心して暮らすことができる魅力的なかほく市をつくる

② 基本方針

1. 住みよいまちの創造

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名

4-①-4 地域公共交通ネットワーク構築事業

④ 予算事業名
(PLAN)

企画調整事業
2-1-7 (1-1)

⑤ 事業概要
(PLAN)

公営バス(福祉巡回バス、市営バス、スクールバスなど)と民間公共交通(鉄道、バス、タクシーなど)を一体とした効率化及び利便性の向上を図り、市民の移動手段確保はもとより、市内観光施設等へ向けたルート設定や、他市町との相互乗り入れに係る調整など、市全体としての公共交通システムのあり方を検討する。また、MaaS、AI配車によるオンデマンド交通や、非接触型キャッシュレス決済などの新しい生活様式に対応する取り組みについても検討する。

【具体的な取り組み内容】

⑥ 令和2年度
取組内容
(PLAN・DO)

今期総合戦略期間内での「かほく市地域公共交通計画(仮称)」の策定に向け、令和2年6月に設置された石川中央都市圏内の自治体で構成される「石川中央都市圏交通ネットワーク強化推進協議会」において、各自治体の現状把握や課題の抽出などを行い、今後の対応方針などについて検討を行った。

⑦ 基本目標のKPI
(PLAN)

・かほく市を「住み良い」「まあまあ住み良い」と回答した市民の割合 80%

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績
(PLAN・DO・CHECK)

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
運転免許返納者数	目標		130	135	140	145	150	700
	実績	126	156					
		目標						
		実績						
年度:単位(千円)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費		0	0				0
	うち一財		0	0				0
	B. 管理費(人件費・事務費)		989	1,086				2,075
	うち一財		953	1,043				1,996
	総事業費(A+B)		989	1,086	0	0	0	2,075
	うち一財		953	1,043	0	0	0	1,996
一般財源割合(%)			96.4	96	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	96.2
決算	A. 事業費		0					0
	うち一財		0					0
	B. 管理費(人件費・事務費)		1,107					1,107
	うち一財		1,068					1,068
	総事業費(A+B)		1,107	0	0	0	0	1,107
	うち一財		1,068	0	0	0	0	1,068
一般財源割合(%)			96.5	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	96.5

⑨ 令和3年度以降
の方針
(CHECK・ACT)

方針	2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5.廃止
理由	かほく市地域公共交通計画(仮称)の策定に向け、近隣市町及び石川中央都市圏での検討を進める必要があるため。
対応方針	現在、石川中央都市圏交通ネットワーク強化推進協議会にて課題抽出や圏域としての取り組み方針を協議している段階であり、広域の交通計画を基に本市の交通計画を策定する予定。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見
(CHECK・ACT)

方針	2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5.廃止
意見	市の提案のとおり進めること。

担当課

企画情報課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標

4. 安心して暮らすことができる魅力的なかほく市をつくる

② 基本方針

1. 住みよいまちの創造

◇事業内容(PCDAサイクル)

③ 事業番号・名

4-①-5 石川中央都市圏連携事業の推進

④ 予算事業名
(PLAN)

企画調整事業
2-1-7 (1-1)

⑤ 事業概要
(PLAN)

平成28年3月に石川中央都市圏で策定した圏域ビジョンを着実に実行し、高次都市機能の集積・強化と広域活用、圏域の経済成長の促進、圏域全体での生活関連機能サービスの向上のための具体的な連携事業の企画立案、推進を行う。

【具体的な取り組み内容】

⑥ 令和2年度
取組内容
(PLAN・DO)

石川中央都市圏を構成する金沢市、白山市、野々市市、津幡町、内灘町との連携を深め、圏域全体での生活関連機能サービスの向上に向け、地域公共交通網の検討及び地方創生SDGsに関する取り組みなど、具体的な連携事業を実施。

⑦ 基本目標のKPI
(PLAN)

・かほく市を「住み良い」「まあまあ住み良い」と回答した市民の割合 80%

現況値 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 累計値

連携事業数	目標		15	16	17	18	19	—
	実績	14	21					
	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績
(PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	100	100				200
	うち一財	100	100				200
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,680	1,847				3,527
	うち一財	1,620	1,773				3,393
	総事業費(A+B)	1,780	1,947	0	0	0	3,727
	うち一財	1,720	1,873	0	0	0	3,593
一般財源割合(%)		96.6	96.2	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	96.4
決算	A. 事業費	0					0
	うち一財	0					0
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,881					1,881
	うち一財	1,816					1,816
	総事業費(A+B)	1,881	0	0	0	0	1,881
	うち一財	1,816	0	0	0	0	1,816
一般財源割合(%)		96.5	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	96.5

方針 2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

⑨ 令和3年度以降
の方針
(CHECK・ACT)

理由 金沢市を中心市とした周辺4市2町で連携を密にし、圏域の強みである住みやすさに磨きをかけるための連携事業を展開する必要があるため。

対応方針

令和3年度から「第2期石川中央都市圏ビジョン」による連携事業を推進することになっており、本市から提案している新規事業の実施や他市町提案の新規事業実施など、相互に協力しながら、圏域の魅力を向上させ、圏域住民が安心して快適な暮らしを営むことができる圏域の形成を目指していく。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見
(CHECK・ACT)

方針 2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

意見 市の提案のとおり進めること。

担当課

健康福祉課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標

4. 安心して暮らすことができる魅力的なかほく市をつくる

② 基本方針

2. 市民の健康と生きがいの創造

◇事業内容(PCDAサイクル)

③ 事業番号・名

4-②-1 市民の健康づくりと「健康なまち」づくり基盤の整備

④ 予算事業名
(PLAN)

健康づくり事業
4-1-2(3-1)

⑤ 事業概要
(PLAN)

運動不足を解消することにより、生活習慣病やロコモティブシンドローム（運動器症候群）、フレイル（虚弱）の予防を推進し、健康寿命の延伸を図る。
かほくにゃおんWAONカードを活用し、健康ポイントを付与するか歩く健康ウォーキング事業、健康ポイントラリーをはじめとした健康づくり事業を産官学連携のもと実施するとともに、安全なウォーキングロードの整備など、歩きたくなるまちづくりに向けたウォーキング事業を展開する。

⑥ 令和2年度
取組内容
(PLAN・DO)

【具体的な取り組み内容】

・30歳以上の市民を対象とした活動量計及びいしかわスポーツマイレージを活用したウォーキング事業を実施し、参加者は313人で1日平均6,000歩以上の方は53.4%だった。かほくにゃおんWAONカードと関連づけし、日々の歩数に応じた健康ポイントを付与した。
・ウォーキングの推進にあたり、H26年3月作成のかほく市マイルウォーキングマップ掲載のウォーキングコース活用・周知の他、新たなウォーキングコースの設定についても検討した。
・産官学連携で健康レッスンを実施し参加者に健康ポイントを付与した。計7回で247人の参加だった。

⑦ 基本目標のKPI
(PLAN)

・かほく市を「住み良い」「まあまあ住み良い」と回答した市民の割合 80%

現況値 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 累計値

6,000歩/日以上に達した人の割合	目標		72.0%	72.5%	73.0%	73.5%	74.0%	—
	実績	71.5%	53.4%					

	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績
(PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	4,710	3,949				8,659
	うち一財	4,710	949				5,659
	B. 管理費(人件費・事務費)	11,612	9,909				21,521
	うち一財	10,763	9,145				19,908
	総事業費(A+B)	16,322	13,858	0	0	0	30,180
	うち一財	15,473	10,094	0	0	0	25,567
一般財源割合(%)		94.8	72.8	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	84.7
決算	A. 事業費	2,234					2,234
	うち一財	2,143					2,143
	B. 管理費(人件費・事務費)	12,784					12,784
	うち一財	11,905					11,905
	総事業費(A+B)	15,018	0	0	0	0	15,018
	うち一財	14,048	0	0	0	0	14,048
一般財源割合(%)		93.5	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	93.5

⑨ 令和3年度以降
の方針
(CHECK・ACT)

方針	2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5.廃止
理由	健康づくりに取り組む市民の増加のため
対応方針	・30歳以上の市民を対象とした活動量計及びいしかわスポーツマイレージを活用したウォーキング事業を継続。 ・産官学連携のもとによる健康レッスンを継続。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見
(CHECK・ACT)

方針	2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5.廃止
意見	市の提案のとおり進めること。

担当課

長寿介護課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標

4. 安心して暮らすことができる魅力的なかほく市をつくる

② 基本方針

2. 市民の健康と生きがいの創造

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名

4-②-2 高齢者の生きがいづくり環境の整備

④ 予算事業名
(PLAN)

老人福祉施設管理費
3-1-3(10-1)

⑤ 事業概要
(PLAN)

高齢者向けの各種講座を開催し、元気な高齢者の活動を支援することにより、元気な高齢者の増加を目指すとともに、スキルを持った高齢者の活躍の場の創出や高齢者の生きがいづくりを推進する。
また、各地区にある老人福祉センターの中長期の管理計画を策定し、高齢者の生きがいづくりの環境の整備を図る。

【具体的な取り組み内容】

- ・看護大学との連携による地域公開講座開催(計3回 25名参加)
- ・いきいきシニアステーションにおける持ち寄りカフェ等の実施(計47回 201人)
- ・ボランティア活動推進、既存ボランティアとの合流、新たなボランティアの立ち上げ支援等の実施によるボランティア活動の担い手の人材育成(計2回 13人参加)
- ・上記項目を効率的かつ円滑に推進するため、ニーズ調査を実施(回収率51.2%/1,000名)

⑥ 令和2年度
取組内容
(PLAN・DO)

⑦ 基本目標のKPI
(PLAN)

・かほく市を「住み良い」「まあまあ住み良い」と回答した市民の割合 80%

	現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
目標		97.0%	97.0%	97.0%	97.0%	97.0%	—
実績	97.0%	94.9%					

目標							
実績							

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績
(PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	108,266	38,210				146,476
	うち一財	37,285	37,634				74,919
	B. 管理費(人件費・事務費)	4,804	4,619				9,423
	うち一財	4,028	3,736				7,764
	総事業費(A+B)	113,070	42,829	0	0	0	155,899
	うち一財	41,313	41,370	0	0	0	82,683
	一般財源割合(%)	36.5	96.6	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	53
決算	A. 事業費	98,062					98,062
	うち一財	34,633					34,633
	B. 管理費(人件費・事務費)	4,549					4,549
	うち一財	3,700					3,700
	総事業費(A+B)	102,611	0	0	0	0	102,611
	うち一財	38,333	0	0	0	0	38,333
	一般財源割合(%)	37.4	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	37.4

⑨ 令和3年度以降
の方針
(CHECK・ACT)

方針	2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5.廃止
理由	高齢者を心豊かに過ごし質の良い生活を送るため、健康を保ち生涯学習や地域活動等の様々な分野において高齢者が活躍できる場や仕組み作りを今後も継続していくことが、高齢者の生きがいづくりには必要であり介護予防にも繋がる。
対応方針	コロナ禍ではあるが少数での各種講座を開催し、高齢者同士の交流を促進できるようボランティアや関係各所と連携しながら高齢者自身が培ってきた知識や文化を地域に還元できるよう環境整備に努める。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見
(CHECK・ACT)

方針	2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5.廃止
意見	市の提案のとおり進めること。

担当課

健康福祉課（産業振興課）

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標

4. 安心して暮らすことができる魅力的なかほく市をつくる

② 基本方針

2. 市民の健康と生きがいの創造

◇事業内容(PCDAサイクル)

③ 事業番号・名

4-②-3 障害者の暮らしの安全と生きがいづくり

④ 予算事業名 (PLAN)

障害者自立支援給付費 4-1-1 (4-1) 勤労者対策事業 5-1-1 (1-1)

⑤ 事業概要 (PLAN)

障害者が地域で自立した生活ができるよう関係団体等との連携強化を図り、包括的なケアシステムを構築する。

⑥ 令和2年度取組内容 (PLAN・DO)

【具体的な取り組み内容】

障害者の高齢化・重度化や「親亡き後」を見据え、『相談と緊急時受入れ対応』について体制整備の在り方を、市内関係事業所の実務者に参集してもらい、ワーキングを計7回開催した。また、市内福祉事業所の連絡会を計6回実施した。
また、障害者の雇用機会の拡大及び安定的な雇用の確保を図るため、国の「障害者トライアル雇用」制度を活用後も当該労働者を継続雇用する市内事業者に対して奨励金を上乘せ交付することとしていたが、交付実績はなかった。

⑦ 基本目標のKPI (PLAN)

・かほく市を「住み良い」「まあまあ住み良い」と回答した市民の割合 80%

⑧ 当該事業目標KPI及び実績 (PLAN・DO・CHECK)

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
障害者の就労者数(福祉サービス)	目標		54	57	60	63	66	—
	実績	41	46					
障害者トライアル雇用奨励金利用件数	目標		3	3	3	3	3	15
	実績	0	0					0
年度:単位(千円)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費		670,123	657,591				1,327,714
	うち一財		186,667	176,851				363,518
	B. 管理費(人件費・事務費)		23,610	24,773				48,383
	うち一財		21,884	22,862				44,746
	総事業費(A+B)		693,733	682,364	0	0	0	1,376,097
	うち一財		208,551	199,713	0	0	0	408,264
一般財源割合(%)			30.1	29.3	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	29.7
決算	A. 事業費		737,938					737,938
	うち一財		207,472					207,472
	B. 管理費(人件費・事務費)		26,716					26,716
	うち一財		24,894					24,894
	総事業費(A+B)		764,654	0	0	0	0	764,654
	うち一財		232,366	0	0	0	0	232,366
一般財源割合(%)			30.4	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	30.4

⑨ 令和3年度以降の方針 (CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	地域生活支援拠点整備は令和3年度から本格実施をしていくが、特に『相談支援体制や緊急時の受け入れ体制の整備』について事業所間とも連携を図りながら、早急な体制づくりに向けて取り組む必要がある。また、市内労働者、特に就職を希望する障害者の雇用機会の拡大・確保のため、継続する必要がある。
対応方針	地域生活支援拠点整備は、実施要綱を作成するとともに、連携する事業所と実際に運用していく上での課題がないか等最終確認をしていく。 市商工会、ハローワーク等と連携して、現状やニーズの把握をし、事業者へ向けた制度の周知を行うとともに障がいのある方への周知も図っていく。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	市の提案のとおり進めること。

担当課

スポーツ文化課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標

4. 安心して暮らすことができる魅力的なかほく市をつくる

② 基本方針

3. スポーツ文化の創造

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名

4-③-1 かほく市総合体育館の整備を核としたスポーツ環境づくり

④ 予算事業名
(PLAN)

かほく市総合体育館(仮称)整備事業 10-5-2 (8-1) 体育施設長寿命化事業 10-5-2 (1-1) 体育施設維持管理事業 10-5-2 (2-1)

⑤ 事業概要
(PLAN)

競技スポーツ・プロスポーツのニーズにも応えることのできる高い機能を有する施設であるとともに、すべての市民がスポーツに様々な形で関わり、交流できる拠点として総合体育館の整備を行い、周辺エリアの賑わい創出事業の展開も併せて検討する。
また、市内全体育施設のスポーツ環境の整備・充実も計画的に推進し、利用者への安心安全なスポーツ環境の提供を目指す。

【具体的な取り組み内容】

・かほく市民のスポーツ文化の拠点となるかほく市総合体育館整備事業について、令和2年度は民間資金とノウハウを活用するPFI手法を導入し、かほく市総合体育館等整備運営事業審査委員会を開催、応募提案の中から優先交渉権者を決定した。
・かほく市スポーツ施設整備計画に基づく施設の長寿命化事業として、アクロス高松ジョイ館、宇ノ気体育館の空調設備等の改修工事を実施した。

⑥ 令和2年度
取組内容
(PLAN・DO)

⑦ 基本目標のKPI
(PLAN)

・かほく市を「住み良い」「まあまあ住み良い」と回答した市民の割合 80%

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
市内体育館の 利用者数(千人)	目標		610	590	600	620	660	3,080
	実績	604(H30)	395					
市民(成人)の週1 回以上のスポーツ 実施率(%)	目標		60	60	65	65	70	—
	実績	—	78					

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績
(PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	84,400	345,264				429,664
	うち一財	6,700	7,633				14,333
	B. 管理費(人件費・事務費)	9,075	8,366				17,441
	うち一財	7,156	7,946				15,102
	総事業費(A+B)	93,475	353,630	0	0	0	447,105
	うち一財	13,856	15,579	0	0	0	29,435
一般財源割合(%)		14.8	4.4	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	6.6
決算	A. 事業費	81,051					81,051
	うち一財	8,476					8,476
	B. 管理費(人件費・事務費)	10,321					10,321
	うち一財	7,989					7,989
	総事業費(A+B)	91,372	0	0	0	0	91,372
	うち一財	16,465	0	0	0	0	16,465
一般財源割合(%)		18.0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	18

方針 2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5.廃止

⑨ 令和3年度以降
の方針
(CHECK・ACT)

理由 スポーツの魅力が体感でき、賑わい創出の核となるよう時代のニーズを的確に捉え、生涯スポーツの推進や地域の活性化が図られる総合体育館整備に取り組んでいく必要がある。

対応方針 スポーツ文化の拠点となるよう設計・建設に取り組むとともに、スポーツを核とした地域活性化や市民ニーズを捉えた運営など交流・賑わい創出を提供できるように検討していく。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見
(CHECK・ACT)

方針 2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5.廃止

意見 市の提案のとおり進めること。

担当課

スポーツ文化課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標

4. 安心して暮らすことができる魅力的なかほく市をつくる

② 基本方針

3. スポーツ文化の創造

◇事業内容(PCDAサイクル)

③ 事業番号・名

4-③-2 する・みる・支えるを通じた「スポーツ関係人口」の創出

④ 予算事業名
(PLAN)

生涯スポーツ振興事業 10-5-1 (4-1) 各種大会事業 10-5-1 (6-1)

⑤ 事業概要
(PLAN)

地域のスポーツ機会を創出し、スポーツ振興や地域経済の活性化を図るため、「(仮)かほくスポーツコミッション」の設置を検討し、新たなスポーツイベントの開催、誘致等の活動を行い、スポーツ振興及びスポーツを核とした地域活性化の促進を図る。また、トップアスリートを発掘・育成・強化するため、指導者の育成と競技スポーツの強化について体系的かつ戦略的な支援を強化する。

【具体的な取り組み内容】

⑥ 令和2年度
取組内容
(PLAN・DO)

・「(仮)かほくスポーツコミッション」組織の設立にむけ既設団体等へ調査を開始した。また、スポーツ推進審議会にて今後の取り組みなどを審議した。
・全国大会へ出場する選手・監督等に対し激励費を支給した。⇒16大会、28人出場。
・全国高校選抜大会の激励費を開催した。⇒対象13人。
・公認審判員等の資格取得研修・登録費用の一部を助成した。⇒76人が公認審判員の資格を取得。

⑦ 基本目標のKPI
(PLAN)

・かほく市を「住み良い」「まあまあ住み良い」と回答した市民の割合 80%

現況値 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 累計値

かほくスポーツコミッションの設置	目標		—	—	1	1	1	1
	実績	—	—					0
全国大会等出場者への助成者数	目標		250	250	250	270	270	1,290
	実績	241(H30)	28					28

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績
(PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	2,846	3,212				6,058
	うち一財	2,846	3,212				6,058
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,800	4,081				5,881
	うち一財	1,420	3,874				5,294
	総事業費(A+B)	4,646	7,293	0	0	0	11,939
	うち一財	4,266	7,086	0	0	0	11,352
	一般財源割合(%)	91.8	97.2	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	95.1
決算	A. 事業費	536					536
	うち一財	536					536
	B. 管理費(人件費・事務費)	2,048					2,048
	うち一財	1,585					1,585
	総事業費(A+B)	2,584	0	0	0	0	2,584
	うち一財	2,121	0	0	0	0	2,121
	一般財源割合(%)	82.1	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	82.1

方針 2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

⑨ 令和3年度以降
の方針
(CHECK・ACT)

理由 スポーツを活かした交流人口の拡大、地域の知名度の向上、地域住民のスポーツ活動の活性化により、新たなビジネス機会の創出と、シティプロモーションを総合的に進めるため、総合体育館の完成に併せ、かほくスポーツコミッションの設立に取り組んでいく必要がある。

対応方針 スポーツコミッション組織に係る情報収集を実施するとともに、市の実情に応じたスポーツイベントやスポーツ資源の活用に関するワーキングを開催し特性を見出す。また、有識者を含めた委員会組織をの設立に向けた展開をしていく。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見
(CHECK・ACT)

方針 2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

意見 市の提案のとおり進めること。

担当課

産業振興課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標

5. かほく市オンリーワンの資源を活用し、活性化の拠点をつくる

② 基本方針

1. かほく市の特色を活かした地域の活性化

◇事業内容(PDCAサイクル)

③ 事業番号・名

5-①-1 北部交流ゾーンの賑わい創出

④ 予算事業名
(PLAN)

観光振興対策事業
7-1-3 (1-1)

⑤ 事業概要
(PLAN)

のと里山海道沿いに位置し、かほく市の玄関口として市の情報を発信している道の駅高松において観光情報の発信や特産物の紹介等を行うことにより、かほく市の知名度向上を図るとともに、各種交流事業や体験事業を開催するなど、北部交流ゾーンの賑わい拠点として、事業を展開していく。
また、将来的には「地域商社」として機能強化を図り、地域の特色を生かしたレクリエーション事業の展開や特産品販売などにより賑わいの創出につなげる。

【具体的な取り組み内容】

・北部交流ゾーン振興ビジョンの具現化に向けた検討を実施。
→R元年度に研究会でまとめたビジョンの実現に向け、外部委員で組織するワーキング会議を開催し、今後の検討課題の抽出などを行った。
※ワーキンググループは外部有識者等7名及び公募メンバー3名の計10名で構成
※7月～3月で6回開催
→トライアル事業としてサップ体験やかぶらずし作りを実施

⑥ 令和2年度
取組内容
(PLAN・DO)

⑦ 基本目標のKPI
(PLAN)

・西田幾多郎哲学館と道の駅高松の来訪者数 443千人

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
道の駅高松 の入込客数	目標		380,000	387,000	394,000	401,000	408,000	1,970,000
	実績	370,889	268,692					
	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績
(PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	3,600	3,970				7,570
	うち一財	3,600	3,970				7,570
	B. 管理費(人件費・事務費)	5,106	5,144				10,250
	うち一財	4,837	4,762				9,599
	総事業費(A+B)	8,706	9,114	0	0	0	17,820
	うち一財	8,437	8,732	0	0	0	17,169
一般財源割合(%)		96.9	95.8	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	96.3
決算	A. 事業費	3,300					3,300
	うち一財	0					0
	B. 管理費(人件費・事務費)	5,064					5,064
	うち一財	4,795					4,795
	総事業費(A+B)	8,364	0	0	0	0	8,364
	うち一財	4,795	0	0	0	0	4,795
一般財源割合(%)		57.3	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	57.3

方針 2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

⑨ 令和3年度以降
の方針
(CHECK・ACT)

理由 北部振興ビジョン実現化に向けたトライアルや検証を継続し、計画中の他の事業の検証や地域おこし協力隊の任用、ビジョン実現化に向けた活動等についても取り組んで行く必要がある。

対応方針 地域おこし協力隊の任用や地域商社の設立に向けた取り組みを進めるとともに、地域経済還流型事業の展開や特産品販売など、地域の方々や関係機関等との連携を図りながら北部の賑わい創出・地域活性化を目指す。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見
(CHECK・ACT)

方針 2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

意見 商工会、地元区、道の駅高松、看護大学、グラウンドゴルフ場等関係機関や関係者等との連携を図り、活性化に向けた議論を進めること。

担当課

企画情報課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標 5. かほく市オンリーワンの資源を活用し、活性化の拠点をつくる

② 基本方針 1. かほく市の特色を活かした地域の活性化

◇事業内容(PCDAサイクル)

③ 事業番号・名 5-①-2 南部交流ゾーンの広域商業機能や交流機能の集積・強化

④ 予算事業名 (PLAN) 企画調整事業 2-1-7 (1-1)

⑤ 事業概要 (PLAN) 広域商業機能や交流機能のさらなる集積・強化に向け、うみっこらんど七塚や石川県西田幾多郎記念哲学館との連携も視野に、市民の消費活動の利便性を高めるとともに関係人口の創出に繋げる。

【具体的な取り組み内容】

⑥ 令和2年度取組内容 (PLAN・DO) 南部交流ゾーンへの新たな企業誘致を展開していくにあたり、「南部交流ゾーン商圈基礎調査業務」を実施し、地勢・人口・交通特性の分析及び競合業種の状況整理を行った。

⑦ 基本目標のKPI (PLAN) ・西田幾多郎哲学館と道の駅高松の来訪者数 443千人

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
市内観光入込客数	目標		640,000	655,000	670,000	685,000	700,000	3,350,000
	実績	635,624	429,500					
	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI及び実績 (PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	2,000	0				2,000
	うち一財	2,000	0				2,000
	B. 管理費(人件費・事務費)	889	978				1,867
	うち一財	857	938				1,795
	総事業費(A+B)	2,889	978	0	0	0	3,867
	うち一財	2,857	938	0	0	0	3,795
一般財源割合(%)		98.9	95.9	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	98.1
決算	A. 事業費	1,430					1,430
	うち一財	1,430					1,430
	B. 管理費(人件費・事務費)	996					996
	うち一財	961					961
	総事業費(A+B)	2,426	0	0	0	0	2,426
	うち一財	2,391	0	0	0	0	2,391
一般財源割合(%)		98.6	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	98.6

方針 2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

⑨ 令和3年度以降の方針 (CHECK・ACT)

理由 南部交流ゾーンの賑わい創出に向け、引き続き企業誘致及び既存公共施設等の機能強化に取り組んでいく必要がある。

対応方針 経済状況や企業の進出ニーズを注視し情報収集に努めるとともに、商圈調査における分析結果等をもとに、各企業に対し積極的に情報提供を行っていく。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

方針 2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止

意見 市の提案のとおり進めること。関係機関、関係者と連携すること。

担当課 生涯学習課（哲学館）

◇かほく市創生総合戦略推進計画（総合戦略）の体系

① 基本目標 5. かほく市オンリーワンの資源を活用し、活性化の拠点をつくる

② 基本方針 1. かほく市の特色を活かした地域の活性化

◇事業内容(PCDAサイクル)

③ 事業番号・名 5-①-3 西田幾多郎記念哲学館の充実による西田哲学の普及・啓発

④ 予算事業名 (PLAN) 西田記念哲学館管理運営事業 10-4-6 (3-1)

⑤ 事業概要 (PLAN)

リモートやネット等の新しい形態の導入も検討し、全国の大学との連携や研究会の開催、西田幾多郎ゆかりの地等での講演会の開催、共通道徳によるふるさと教育等を通じて、哲学を担う人材・地域を担う人材の育成と、西田哲学及び哲学館の普及・啓発を図る。
また、収蔵品管理システムの利便性向上を図り、「電子資料館」として広くPRするとともに、タブレット端末を活用した多言語案内・説明・翻訳など、外国人来館者対応の充実を図る。

【具体的な取り組み内容】

- ①西田幾多郎博士ゆかりの地交流事業⇒ゆかりの地講演会：参加者48人※オンライン動画配信
- ②収蔵資料の修復及び翻刻⇒ノート14冊、レポート60点の翻刻作業完了。展示公開用レプリカ作製
- ③収蔵品管理システムの充実⇒デジタル撮影業務、調査・整理業務を実施。ノート類デジタルアーカイブ公開
- ④企画展の開催 ⇒生誕150周年企画展を開催（入館者数延べ2,547人）
- ⑤哲学入門講座、⑥哲学カフェ、⑦国際哲学交流シンポジウム⇒コロナにより中止
- ⑧研修受入れ・出前講座 ⇒受入：3回、47人（市道徳教諭、金沢大、二水高）、出前講座11回、988人

⑦ 基本目標のKPI (PLAN)

・西田幾多郎哲学館と道の駅高松の来訪者数 443千人

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
哲学館の利用者数	目標		30,000	32,500	32,500	35,000	35,000	—
	実績	28,060	18,803					—
		目標						
		実績						

⑧ 当該事業目標KPI及び実績 (PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	100,758	65,817				166,575
	うち一財	71,701	54,791				126,492
	B. 管理費(人件費・事務費)	53,168	60,556				113,724
	うち一財	51,121	58,351				109,472
	総事業費(A+B)	153,926	126,373	0	0	0	280,299
	うち一財	122,822	113,142	0	0	0	235,964
一般財源割合(%)		79.8	89.5	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	84.2
決算	A. 事業費	92,817					92,817
	うち一財	66,433					66,433
	B. 管理費(人件費・事務費)	59,228					59,228
	うち一財	56,947					56,947
	総事業費(A+B)	152,045	0	0	0	0	152,045
	うち一財	123,380	0	0	0	0	123,380
一般財源割合(%)		81.1	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	81.1

⑨ 令和3年度以降の方針 (CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	目標KPI値は、新型コロナウイルス感染症の対応により休館や外出制限があり、前年比マイナス6.7ポイントとなった。そのような状況下でも講演会のオンライン配信や企画展の動画をホームページ、動画共有サイトに掲載を行った。今後も継続的に多様な企画・講座等の実施に取り組むことと情報発信の工夫が大切である。
対応方針	誰でも気軽に参加できる入門講座、哲学カフェなど特色ある事業を継続的に展開する中で、新たな交流人口の増加につなげる。長期の企画展では、期間中に関連イベントも実施し、メディアやマスコミへの周知のほか、チラシ・ポスターの配布、SNSの活用により来館者の増加につなげる。貴重な西田未公開資料の翻刻業務等を進め、西田哲学の調査・研究を継続していく。

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見 (CHECK・ACT)

方針	2:継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	市の提案のとおり進めること。

担当課

企画情報課

◇かほく市創生総合戦略推進計画(総合戦略)の体系

① 基本目標

5. かほく市オンリーワンの資源を活用し、活性化の拠点をつくる

② 基本方針

1. かほく市の特色を活かした地域の活性化

◇事業内容(PCDAサイクル)

③ 事業番号・名

5-①-4 石川県立看護大学及び県内大学による地方創生推進事業

④ 予算事業名
(PLAN)

企画調整事業
2-1-7 (1-1)

⑤ 事業概要
(PLAN)

石川県立看護大学や金沢学院大学など県内大学と連携し、健康づくり事業等の展開や市の各種施策への提言及び参画、またそれらを通じた学生への学びの場の提供などを通じ、市と大学との協働によるまちづくり事業を推進する。

【具体的な取り組み内容】

各大学との連携事業を実施し、それぞれの専門分野における提案等をまちづくりに活かす。
 ・石川県立看護大学
 市民の健康づくり事業、いきいきシニア活動推進事業、高齢者との交流事業などを継続して実施。
 ・金沢学院大学
 経済学を応用したまちづくり提案(インスタ映えモニュメント)⇒※令和3年度設置
 「大好きにゃんたろう」CG版制作⇒制作着手 ※令和3年度完成予定。

⑥ 令和2年度
取組内容
(PLAN・DO)

⑦ 基本目標のKPI
(PLAN)

・西田幾多郎哲学館と道の駅高松の来訪者数 443千人

		現況値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
社会増減数 (転入者数-転出者数)	目標		150	150	150	150	150	750
	実績	148	207					-

		目標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計値
	目標							
	実績							

⑧ 当該事業目標KPI
及び実績
(PLAN・DO・CHECK)

年度:単位(千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
予算	A. 事業費	0	0				0
	うち一財	0	0				0
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,483	1,629				3,112
	うち一財	1,429	1,564				2,993
	総事業費(A+B)	1,483	1,629	0	0	0	3,112
	うち一財	1,429	1,564	0	0	0	2,993
一般財源割合(%)		96.4	96	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	96.2
決算	A. 事業費	0					0
	うち一財	0					0
	B. 管理費(人件費・事務費)	1,661					1,661
	うち一財	1,602					1,602
	総事業費(A+B)	1,661	0	0	0	0	1,661
	うち一財	1,602	0	0	0	0	1,602
一般財源割合(%)		96.4	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	96.4

方針	2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
理由	両大学との連携協定に基づいた連携事業を引き続き推進し、大学側が持つ専門的な知見をまちづくりに活かす必要があるため。
対応方針	連携協定に基づく連携事業を引き続き推進していく。

⑨ 令和3年度以降
の方針
(CHECK・ACT)

【外部評価委員会後事務局で記載】

⑩ 外部委員会意見
(CHECK・ACT)

方針	2.継続 ← 1:拡充 2:継続 3:見直し・検討 4:完了 5:廃止
意見	市の提案のとおり進めること。